

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度(新規)	児童館
事業名	保育所、児童館、幼稚園などでの相談・支援事業	
計画体系	1 - (1) - 身近で相談・援助などが受けられる体制づくり	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	公的施設などで子育てに関する専門相談員による相談・援助等を行います	
H20年度 of 取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児開放事業ころころに来館した時に随時相談ができるように、資格を持った職員を配置 ・児童館に配置されている子育て専門職員(有資格者)の知識経験を活用し、乳幼児開放事業に合わせ、育児相談を実施 ・随時電話等による子育て相談を受付 	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特筆すべき経費等はなし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし	
H21年度 of 取組み内容 【予定】	引続き実施	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	事業も広く認知されていることから、今後も課題等を検証し、保健師等と連携しながら相談事業を展開する。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	児童館、はまなす・くるみ・厚田・はまます保育園
事業名	乳幼児開放事業の拡充	
計画体系	1 - (1) - 身近で相談・援助などが受けられる体制づくり	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	地域の社会資源を有効活用し、身近な場所で利用できる体制整備を行います	
H20年度の実践 【具体的内容】	児童館 幼児開放「こころ」事業として実施 はまなす・くるみ保育園 ・就学前の在宅幼児と親を対象に地域活動事業を実施 ・地域交流促進事業として高齢者クラブ等との世代間交流を実施 厚田・はまます保育園 ・へき地保育所の両園においても地域活動（園でのひろば事業）を開始（月1回のペースで実施）	
幼児開放「こころ」	・児童館の児童が利用していない月曜日から金曜日午前中の時間帯を利用して、乳幼児の子育て支援の場を確立する。 ・花川北児童館、花川南児童館、花川児童館（りんくる内）、おおぞら児童館で実施 ・月～金曜日 午前9時30分～午前11時30分 学校長期休業期間（夏・冬休み） コミセンで実施 子育てサークル開放日の実施	
保育所地域活動事業	子育て中の親などが気軽に集い交流できる場として保育園を活用し、地域における子育て家庭の子育てに関する相談、援助等が受けられるような体制整備を行う事業 ・はまなす保育園で「らっこひろば」を実施（開催件数 49回） ・くるみ保育園で「こあらくらぶ」を実施（開催件数 42回）	
地域交流促進事業	色々な人々との交流を通して子どもが社会性を身につけるため高齢者との交流を実施する事業 ・くるみ保育園で「世代間交流」を実施（開催件数 5回）	
かかった経費は？（又は人力は？） 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	児童館 専任指導員賃金 223.7万円、報償費 5万円、需用費 31万円、使用料及び手数料 0.3万円 備品購入費 13万円 合計 273万円 【人工】 保育士2人(0.5人×4館)×191日(開催半日) = 382人 / 年 はまなす・くるみ保育園 【経費】 報償、消耗品、保険など全体で41万7千円 （国交付金対象だが、他の項目と一括算入のため特定できず） 【人工】 保育士1.5人×91日(開催半日+準備半日) = 136人 / 日 厚田・はまます保育園 消耗品費、印刷製本費、損害保険料等 146千円	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	児童館 幼児開放「こころ」について、子育て支援サークル活動を実施している団体の利用が少なかった。 厚田・はまます保育園 初年度の取り組みであり、対象者の把握や参加者への周知方法	
H21年度の実践内容 【予定】	児童館 子育て支援サークル活動団体が気軽に利用できる施設として開放し、子育て支援を拡大する。 くるみ保育園 引き続き実施	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	児童館 参加者の要望等を参考にしながら引き続き実施予定 くるみ保育園 参加者の要望等を参考にしながら引き続き実施予定 厚田・はまます保育園 地域ニーズの把握に努めると共に、各地域の実情に応じて取り進める。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度 (新規)	こども室 (子育て支援課)
事業名	子育てに関する総合窓口の整備	
計画体系	1 - (1) - 子育てに関する総合相談支援体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもに関する相談・各種手続き等の窓口を総合的に整備し、子育て等に関する適確でわかりやすい情報提供を行います	
H20年度の取組み 【具体的内容】	出生や転入の手続きのため窓口に来た保護者に子育てガイドブックの配布や産後子育てサポート事業の案内を連動するなど、連携を図った。	
産後支援ヘルパー派遣事業 【産後子育てサポート事業】	産後6ヶ月までの赤ちゃんのいる家庭にファミリー・サポート・センターの4時間分の無料券を配布し、育児又は家事の支援を行う事業。核家族化が進み、出産直後の母子の世話を身内に期待できない家族が増加している現在において、心身ともに負担の大きい産後の母親を支援することにより、精神的にも安定した状態で子育てができるようにすることを目指す。	
かかった経費は？ (又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	なし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	組織の現状においては、効率的な窓口体制となっている。	
H21年度の取組み内容 【予定】	こども家庭課、福祉総務課さらには保健推進課などの関係課との連携に配慮する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	効率的総合的な窓口体制の調査研究は、機を失うことのないよう常日頃から続けていく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度	子育て支援課
事業名	子育てガイドブックの充実	
計画体系	1 - (1) - 子育てに関する総合相談支援体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子育てガイドブックを、より利便性のある内容として作成します	
子育てガイドブック	市の子育てに関する施策全般のほか、子どもに関する様々な機関や問い合わせ先、各種制度の手続きなど、市が発行している子育て総合情報誌	
H20年度の取組み 【具体的内容】	・子育てネット会議の協力により、2009年度版のガイドブックを発行・配布 (4,000部) ・企業協賛広告の掲載 (4社) ・幼稚園PTAの協力による構成・デザイン・マップ作成	
いしかり子育てネット会議	子育てに関わる行政機関やNPO法人さらには子育てサークルなど子育て支援団体が一堂に会する会議で、H17年度から実施。年4回の意見交換会のほか、情報誌「子育てネットマガジン」(毎月発行)、「子育てガイドブック」(毎年発行)、「こどもまつり子育てメッセ」など、関係団体間の情報共有や連携、情報発信、イベント開催などを実施し、子育て家庭をサポートする。	
かかった経費は？ (又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 印刷製本費 366千円、イラスト謝金 20千円 【人工】 0.2人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	子育て情報は市民ニーズも高く、新しくかつ正確な情報提供に努めるために毎年発行しているが、そのための財源である企業協賛が不足している。 H20年度は1社増	
H21年度の取組み内容 【予定】	さらなる充実を目指して、幼稚園PTA連合会等の協力を得、子育て家庭に親しみやすい編集に努める。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	より多くの子育て家庭が参画・編集できるガイドブックを目指す。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度	子育て支援課
事業名	子育てに関する情報の充実	
計画体系	1-(1)- 子育てに関する総合相談支援体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子育てに関する情報収集や情報提供について、関係機関と連携を図りながら、総合的に把握し、子育てカレンダーや情報機器を活用した情報提供等を進めます	
子育てカレンダー	乳幼児健診や市をはじめ各種子育て支援団体の活動日や行事など、月間のスケジュールをカレンダー化したもの。子育て支援センターえるむで取りまとめて発行しているほか、子育てネットマガジンにも掲載している。	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てネットマガジン(月刊)に子育てカレンダーを掲載 ・子育てネットマガジン・カレンダーの市ホームページ掲載 	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 直接経費は些少のため補足せず 【人工】 0.15人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし	
H21年度の取組み内容 【予定】	<ul style="list-style-type: none"> ・出生・転入時の情報提供に加え、札幌市(手稲区・民間団体)への周知・連携強化など ・ネット会議での情報交換と情報発信の手法の検討 	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	情報提供の手法についてはより入手しやすい工夫に努める。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	こども相談センター
事業名	心のケア事業の実施	
計画体系	1-(1)- 地域子育て支援センター事業の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子育て中の親等の育児不安等を軽減するため、関係機関と連携し、支援センターの増設、心の相談・助言事業を行います	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士1人を配置し、週1回個別のカウンセリングを実施した。 カウンセリング総件数 105件 ・地域子育て支援センターえるむと連携し、リフレッシュハート講座を年8回実施した。 参加者 15名 	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	臨床心理士報酬 103万8千円、費用弁償 14万4千円、託児謝金3万1千円(事業費)	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	これまでのグループカウンセリングの参加者は、育児に積極的で関心のある保護者が比較的多いが、育児支援が必要と思われる保護者への参加働きかけが難しい。	
H21年度の取組み内容 【予定】	育児不安等がある母親を対象に、月1回子育てミーティング(グループケア)を開催する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	保健師又は家庭児童相談員が育児相談等の支援ツールの一つとして、子育てミーティングを活用していく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成21年度(新規)	子育て支援課
事業名	子ども支援総合センター整備事業	
計画体系	1-(1)- 子どもに関する支援サービスの拠点づくり	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	すべての児童の健やかな育成にむけ、総合的に支援する施設を整備します	
H20年度 of 取組み 【具体的内容】	特になし	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	なし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	市財政の逼迫状況から、施設整備は難しい。また、市役所内の業務は相互に関連性が深いので、子どもに関して総合化して庁舎から分離した場合、別の観点からデメリットになることが考えられる。	
H21年度 of 取組み内容 【予定】	H21年度に実施するのであればH20年度中に取り組みことになるが、上記課題から、その段階まで至っていない。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	現在、3市村合併後の組織見直しを段階的に実施しており、H23年度の体制を最終として一連の組織見直しを終了する予定である。当該センターについても再度効率性・効果をあらためて検証する必要がある、場合によっては当該事業の計画計上も再考せざるを得ない。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	子育て支援課
事業名	産後支援ヘルパー派遣事業	
計画体系	1-(2)- 育児支援家庭訪問事業の実施	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	産後の体調不良等で家事や育児が困難な核家族家庭等にヘルパー等を派遣し、母子の身の回りの世話・育児を支援します	
産後子育てサポート事業	産後6ヶ月までの赤ちゃんのいる家庭にファミリー・サポート・センターの4時間分の無料券を配布し、育児又は家事の支援を行う事業。核家族化が進み、出産直後の母子の世話を身内に期待できない家族が増加している現在において、心身ともに負担の大きい産後の母親を支援することにより、精神的にも安定した状態で子育てができるようにすることを目指す。	
H20年度 of 取組み 【具体的内容】	利用件数 34件(74時間) 25家庭利用のうち13家庭が要支援家庭(保健推進課)	
ファミリー・サポート・センター事業	子育てでの援助をしてほしい人(依頼会員)と援助をしたい人(サポート会員)が会員となり、お互いに助け合いながら活動する会員組織。運営費は国の交付金メニューであり、依頼会員はサポート会員に自治体ごとに決めた報酬額等を支払う仕組み。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 54,600円(78時間分) 【人工】 0.06人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	積極的なサポートが必要な家庭もあるため、養育支援訪問事業(こども相談センター)で引続き支援できる体制を整備した。産後支援には産後うつ等の母親の対応や食事等の家事支援も含まれ、どこまで応えることができるかなどは検討課題となっている。	
H21年度 of 取組み内容 【予定】	引続き継続して実施する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	ファミサポ会員数はこの1年間で191人(H20.3末)から350人(H21.3末)に増え、その半分以上が出生時に登録しているが、在宅子育て家庭においては有料サポートを利用するに至らない場合が多いので、無料サポートできるような両方会員同士の助け合いを検討したい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	子育て支援課
事業名	乳幼児健康支援一時預かり事業(派遣型一時保育)	
計画体系	1-(2)- 乳幼児健康支援一時預かり事業の拡充	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	保護者の傷病・入院等により緊急・一時的に保育が必要な乳幼児・児童の自宅に、ヘルパー等を派遣し保育を補助します	
乳幼児健康支援一時預かり事業 【派遣型一時保育】	保護者の傷病・入院等により緊急・一時的に保育が必要な乳幼児・児童の自宅に、ヘルパー等を派遣し保育を補助する事業	
H20年度の取組み 【具体的内容】	H19年7月よりファミリー・サポート・センター事業を実施	
ファミリー・サポート・センター事業	子育てでの援助をしてほしい人(依頼会員)と援助をしたい人(サポート会員)が会員となり、お互いに助け合いながら活動する会員組織。運営費は国の交付金メニューであり、依頼会員はサポート会員に自治体ごとに決めた報酬額等を支払う仕組み。	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 200万円(委託先:子育て支援ワーカーズぽけっとママ) 【人工】 0.31人工	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	ひとり親家庭の場合など、保護者の病気や出産などで一時的に養育できない時には24時間の託児サービスが必要となるが、市内には児童養護施設がなく、ファミサポのサポート会員が24時間の受け入れを実施しており、受け入れることができる家庭の確保が最大の課題。	
H21年度の取組み内容 【予定】	病児・緊急時の預かりの実施に伴い、病児への投薬、病院での受診のほか、緊急時に対応するために、受付時間を平日の9時から17時までに加え、土日祝日を含む6時半から20時まで(年末年始除く)に拡大	
こどもショートステイ事業 【子育て支援短期利用事業】	保護者の社会的理由(病気・出産・看護・事故・災害・冠婚葬祭・出張など)により一時的に養育できなくなった場合に、児童養護施設や里親宅において、宿泊付きで子どもの食事や身の回りのお世話をする。利用者負担は事業費の1/2相当額。ただし、生活保護世帯等については減免することができる。	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	感染症の病気などにも対応するために、サポート会員のさらなるスキルアップとともに、緊急や宿泊に対応できるよう、サポート会員の確保と会員の理解を求めていく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	保健推進課
事業名	子育てスタッフ(2~3名一組)による電話・訪問支援	
計画体系	1-(2)- 子育てスタッフ事業	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	在宅の子育て家庭の様々な負担感を軽減するため、保健・福祉関係と連携し、電話相談や家庭訪問などを行い支援します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	訪問対象数442件、実施411件、93%の実施率であった。生後1ヶ月以内に約半数、2ヶ月以内に9割の訪問が実施できた。要事後支援者には再訪問、電話、4ヶ月健診で確認、継続的支援の必要な家庭についてはケース検討を行うとともに、関係機関と連携し支援を行った。	
赤ちゃん訪問事業	保健師、助産師等の専門職が生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、母子の心身の状況や養育環境等の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供につなげる。事業の実施主体は市町村	
産後支援ヘルパー派遣事業 【産後子育てサポート事業】	出産直後の家庭に保育士、保健師、子育て経験のある人等を派遣し、育児又は家事の支援を行う事業。核家族化が進み、出産直後の母子の世話を身内に期待できない家族が増加している現在において、心身ともに負担の大きい産後の母親を支援することにより、精神的にも安定した状態で子育てができるようにすることを目指す。	
ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援策で国が重点化している特定14事業メニューの一つ。子育ての援助をしてほしい人(利用会員)と子育ての援助をしたい人(援助会員)が会員となり、お互いに助け合いながら活動する会員組織。運営は国の交付金のほか会員の会費で賄われており、利用会員は援助会員に一定の謝金を支払う仕組み	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	専任臨時保健師人件費114万円、他消耗品4万円	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	訪問できなかった者31名については電話や手紙による状況把握に努めたが、4ヶ月健診で初めて状況を把握できた家庭もあったため、出来るだけ早期の状況把握に努めていく必要がある。	
H21年度の取組み内容 【予定】	昨年度と同様、赤ちゃん訪問専任の臨時保健師には主に第2子以降でハイリスク要因がないと見込まれるケースについては訪問を行ってもらい、第1子やハイリスクケースについては地区担当保健師が訪問を実施していく。H21年度目標値は100%	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	今後も出来るだけ早期に訪問するとともに、訪問にいらなかったケースに関しても手紙や電話などで状況把握に努め、育児環境を含めた母と児の置かれている状況を詳細に把握していく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度(新規)	子育て支援課
事業名	地域の育児サークル・NPO法人を支援し協働による事業	
計画体系	1-(3)- 地域の育児支援団体やNPO法人への支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	親子が気軽に集まれる「つどいの広場」などの運営・企画をNPO等と協働で実施します	
地域子育て支援拠点事業	子育て中の親などが気軽に集い交流できる場で、育児の不安や疑問、悩みの問題解決の糸口になるような機会を提供する事業。常設のひろばを開設する「ひろば型」、専用スペース等での専任保育士による「センター型」がある。	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<p>昨年度に引続き市の委託事業として「つどいの広場(ひろば型)」と「地域子育て支援センター」(センター型、小規模型)を開設</p> <p>つどいの広場</p> <ul style="list-style-type: none"> 名称:0123歳児と親のための子育て広場「りとるきっず」 場所:花畔2条1丁目 北ガスプラザ石狩ビル1階 コムステプラザ 事業主体:NPO法人 こども・コムステーション・いしかり 事業内容:子育て相談(4件)、あそびのひろば(延べ2,681人)、まなびのひろば(延べ268人)、あずかりひろば(延べ11人) <p>地域子育て支援センター</p> <p>石狩市地域子育て支援センターえるむ</p> <ul style="list-style-type: none"> 場所:石狩市花川東93番地5(えるむの森保育園内) 事業主体:社会福祉法人 いしかり福祉会 えるむの森保育園 事業内容:子育て相談(252件)、絵本の貸出し(827冊)、子育てサロン(延べ4,114人)、よちよちサロン(延べ982人)、子育て講座(延べ181人)、保育園の行事参加(延べ339人)、子育てサークル(延べ256人) <p>石狩市地域子育て支援センターくるみの木広場</p> <ul style="list-style-type: none"> 場所:石狩市花川南4条3丁目2(南線光の子保育園内) 事業主体:社会福祉法人 陽光福祉会 南線光の子保育園 事業内容:園開放(延べ2,533人)、子育て相談(270件) 	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>つどいの広場(ひろば型)</p> <p>委託費:489万3千円(うち国・道補助 326万2千円、市一般財源 163万1千円)</p> <p>旧望来保育園消防設備費:5万9千円</p> <p>地域子育て支援センター(センター型)</p> <p>石狩市地域子育て支援センターえるむ</p> <p>委託費:747万4千円(うち国・道補助 498万2千円、市一般財源 249万2千円)</p> <p>石狩市地域子育て支援センターくるみの木広場(小規模型)</p> <p>委託費:257万6千円(うち国・道補助 171万7千円、市一般財源 85万9千円)</p>	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	厚田・浜益など過疎地域での子育て支援についても検討課題であったが、あつた子育て広場(旧望来保育園)をつどいの広場サテライト型で実施、厚田保育園・はまます保育園での幼児開放を実施するなどの充実を図った。	
H21年度の取組み内容 【予定】	<p>つどいの広場(ひろば型)</p> <p>厚田区におけるサテライト型ひろばの開設(あつた子育て広場)</p> <p>中高生の子育てボランティア養成事業の実施</p> <p>地域子育て支援センター(センター型)</p> <p>石狩市地域子育て支援センターえるむ</p> <p>石狩市地域子育て支援センターくるみの木広場(小規模型)</p>	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	「子育て広場」については、上記以外にも、藤女子大学保育学科「おててつないで」をはじめ、法人・団体などが実施(5)しており、その連携・協力体制を強化していきたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成19年度(新規)	子育て支援課
事業名	子育てサポーター養成・地域人材活用事業	
計画体系	1-(3)- 地域サポーターの養成	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	地域の保育士・看護師等の資格を有する人や子育てを終えて、ゆとりのある人を発掘・養成し、子育て家庭等をサポーター支援します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	H19年7月スタートしたファミリー・サポート・センターのサポート会員数64名 H21年3月末、両方会員含む サポート会員養成のための講習会を3回実施(12時間講習+託児実習、27人参加) スキルアップ講座(2時間×2講座)	
ファミリー・サポート・センター事業	子育ての援助をしてほしい人(依頼会員)と援助をしたい人(サポート会員)が会員となり、お互いに助け合いながら活動する会員組織。運営費は国の交付金メニューであり、依頼会員はサポート会員に自治体ごとに決めた報酬額等を支払う仕組み。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 200万円(委託先:子育て支援ワーカーズぼけっとママ) 【人工】 0.3人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	サポート会員の発達支援センターでの実習など、発達障がいへの理解を深めているが、ショートステイなどの受け入れ依頼があったときなどは、担当保健師等との情報共有も不可欠になる。	
H21年度の取組み内容 【予定】	「病児・緊急時の預かり」に伴う講習会の実施 「子どもの健康」(わがつま小児科) 「病児の預かり」(子育て支援ワーカーズ)	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	病児・緊急時の預かりについては、ひとり親家庭や共働き家庭においてニーズの高い事業であり、病院の受診などきめ細やかなサービスが求められる中で、会員同士がお互いに協力しながら子育てを考える意識の醸成も不可欠である。	
病児・緊急対応強化モデル事業	病児・病後児の預かり、早朝・夜間等の緊急時の預かり、宿泊を伴う預かり等をファミリー・サポート・センターにおいて行う事業。病児の講習会の実施に加え、医療機関との連携、受付体制の整備、かかりつけ医への受診・投薬等を行う。	

計画での予定年次 / 担当課	平成19年度(新規)	子育て支援課
事業名	NPO法人等を核とした子育て支援拠点センターの創設	
計画体系	1-(3)- 子育て支援ネットワークづくり	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	育児支援団体・NPO法人・主任児童委員等との連携体制を築き、子育て家庭を支援します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	いしかり子育てネット会議を4回開催。参加者による意見交換に加え、毎回1時間程度の勉強会(ゼミナール)を実施 5/19「妊娠・出産から育児をみつめて-助産師&保健師の話」(エナ・レディーズ・クリニック前川亮子、市保健推進課白川晃子) 8/22「こども発達支援センターの活動報告」(市こども発達支援センター山谷睦子) 11/17「親子関係の心理」(市こども相談センター市川啓子) 2/23「カナダの子育て支援 Nobody's Perfect」(小さな談話室ゆらゆら・矢島満子)	
いしかり子育てネット会議	子育てに関わる行政機関やNPO法人さらには子育てサークルなど子育て支援団体が一堂に会する会議で、H17年度から実施。年4回の意見交換会のほか、情報誌「子育てネットマガジン」(毎月発行)、「子育てガイドブック」(毎年発行)、「こどもまつり子育てメッセ」など、関係団体間の情報共有や連携、情報発信、イベント開催などを実施し、子育て家庭をサポートする。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 ネット会議託児謝金 15千円 【人工】 0.25人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	情報発信(ネットマガジン)のマンネリ化やイベント(こどもまつり)の一過性を防ぐためにも、ネット会議での議論と創意工夫の努力が欠かせない。	
H21年度の取組み内容 【予定】	子育てネット会議の開催、ゼミナールの実施(年4回) 情報誌「子育てネットマガジン」(年12回)、「子育てガイドブック」(年1回)の発行 改訂 「こどもまつり子育てメッセいしかり」への参画 NP(ノーバディーズパーフェクト)のファシリテーター養成・プログラム実施など	

今後はどうしたい？
【これからの事業展開】

NP事業を通して、子育て家庭が主体となれるようなネット会議事業を展開していく。

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	こども家庭課
事業名	認可保育所の整備事業	
計画体系	1-(4)- 多様化する保育ニーズの体制整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	待機児童及び超過入所を解消し、子どものよりよい保育環境にむけ、認可保育所を整備します	
認可保育所	児童福祉法に基づく児童福祉施設。施設の広さ、保育士の数、給食設備などの一定の基準をクリアして認可された保育所。保護者が仕事や病気などの理由で0歳から小学校就学前の子どもの保育ができない場合に、子どもを預かって保育する。地方自治体が運営している保育所(公営)と社会福祉法人などが運営する保育所(私立)があり、認可保育所は公費により運営されている。	
H20年度の取組み 【具体的内容】	H20年4月花川東地区に定員90名の認可保育所を開設	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	H20年度施設整備無し	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	H20年度認可保育所の開設により待機児童は一時解消されたが、昨年秋頃からの景気後退の影響などから、入所希望者が増加し再度待機児童が発生したため、早急な対応策が必要。	
H21年度の取組み内容 【予定】	年度当初から待機児童が増加しているため、対応策として定員超過による入所措置や既存保育園でのスペース確保による定員増などで当面の対策を図りながら、早急に新たな保育所整備について関係所管と協議。	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	待機児童や保育ニーズ状況を注視しながら保育所の整備事業等を検討。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度	こども家庭課
事業名	延長保育事業の見直し(開所時間等)	
計画体系	1-(4)- 多様化する保育ニーズの体制整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	多様な保育ニーズに対応するため、延長保育の時間帯を見直します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	H20年4月新設保育園において、夜間延長保育(2時間)の実施	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	(事業費及び利用児童数) えるむの森保育園 5,950,000円(交付金) 利用児童数延1,089人	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	夜間延長の拡大は、保育士や園児への食事提供など実施体制を整える必要があることから、コンスタントな利用実績がないと、実施が難しい面がある。	
H21年度の取組み内容 【予定】	引続き延長保育事業を実施	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	既存保育園で拡大についての利用ニーズがあれば協議、検討していきたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども家庭課
事業名	一時保育事業の拡充	
計画体系	1 - (4) - 多様化する保育ニーズの体制整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	冠婚葬祭、保護者の傷病、入院等により、緊急・一時的に保育を必要とする児童等を保育します	
一時保育事業	児童が、断続的に保育に欠けるとき及び緊急かつ一時的に保育が必要なとき、又は育児に伴う心理的・肉体的負担を解消するために行っている一時的保育。市内4カ所の保育所(くるみ保育園、はまなす保育園、南線光の子保育園・緑苑台こどもの家保育園)で実施	
H20年度の取組み 【具体的内容】	はまなす、くるみ、南線光の子保育園及び緑苑台こどもの家保育園4園において、一時保育事業を実施(総体年間延利用児童数 2,779人)	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	(事業費及び利用児童数) ・はまなす保育園 8,890,770円(人件費・需用費) 335人 ・くるみ保育園 1,422,062円(人件費・需用費) 70人 ・南線光の子保育園 2,970,000円(交付金) 1,558人 ・緑苑台こどもの家保育園 1,350,000円(交付金) 816人	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	昨年秋以降の待機児童数の増加に伴い一時保育利用希望者も増加した為、利用希望日に利用できない状況もあった。	
H21年度の取組み内容 【予定】	・3園で実施(南線光の子保育園、緑苑台こどもの家保育園、くるみ保育園) ・実施園への市からの交付金は、利用実績に応じて交付。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	待機児童を解消することにより、本来の一時保育利用希望者の利便性につなげたい	

計画での予定年次 / 担当課	平成19年度(新規)	こども家庭課
事業名	休日保育事業の実施	
計画体系	1 - (4) - 多様化する保育ニーズの体制整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	日曜・祝日の保護者の勤務等による保育ニーズに対応します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	えるむの森保育園において、休日保育事業を実施(年間延利用児童数 196人)	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	(事業費及び利用児童数) えるむの森保育園 630,000円(交付金) 196人	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	兄弟で利用したい場合、認可保育園児のみを対象としていたため利用できない場合があった。	
H21年度の取組み内容 【予定】	利用対象を拡大(幼稚園・放課後児童会・へき地保育所等入所者) 周知パンフ等を作成し、PRを図り広く私有地する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	H21年度利用対象を拡大し、利用状況を注視しながら事業展開を検討	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども家庭課
事業名	病後児預かり保育事業(派遣型)	
計画体系	1-(4)- 多様化する保育ニーズの体制整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	保育所等に通所中の児童等が病気の回復期であり、集団保育の困難な期間、自宅にヘルパー等を派遣し保育します	
病後児預かり保育事業(派遣型) 【病後児保育事業】	病気回復期にあつて、まだ保育所には通えない児童を保育士等が一時的に保育を行う事業。事前に登録を行い、必要となったときに市に申し込む。市内の幼稚園、認可保育所、へき地保育所、認可外保育所及び放課後児童会に通所する小学校低学年(3年生)までの児童が利用できる。なお、まだ治療が必要な病中児は対象とならない。	
H20年度の実組み 【具体的内容】	H20年度より、えるむの森保育園において、施設型病後児保育事業を実施(年間延利用児童数 6人 延利用日数 9日間)派遣型、施設型を保護者が選択できるようになった。	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	(事業費及び利用児童数) ・派遣型については、利用無し ・施設型えるむの森保育園 3,200,000円(委託料) 延利用児童数 6名 延利用日数 9名	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	従来の派遣型もあるが、利用の無い状況である。	
H21年度の実組み内容 【予定】	派遣型の国の補助制度もなくなり、利用も少ない状況であり廃止に向けて検討。施設型については、周知パンフ等を作成しPRを図り広く周知する。	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	保護者が利用しやすいよう、できるだけ申込手続等の簡略化を検討していきたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度(新規)	子育て支援課、こども家庭課
事業名	教育・保育計画の公表、情報提供	
計画体系	1-(4)- 幼稚園・保育所の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもを主体とする保育や多様な保育ニーズへの対応等、充実に努めます	
教育・保育計画	各幼稚園・保育園ごとの年間計画。それぞれ内容等について国が定めている。(幼稚園教育要領、保育所保育指針)	
H20年度の実組み 【具体的内容】	子育て支援課 ・市HP「子育て便利帳」、子育てガイドブックによる幼稚園と保育所の情報提供 ・幼稚園ガイドの作成・配布(9月) ・保育所ガイドの作成・配布(1月)	
子育てガイドブック	市の子育てに関する施策全般のほか、子どもに関する様々な機関や問い合わせ先、各種制度の手続きなど、市が発行している子育て総合情報誌	
幼稚園ガイド・保育所ガイド	それぞれ幼稚園(5園)、保育園(へき地保育所や認可外保育所含む14園)の園ごとの概要や費用などをまとめた冊子	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	子育て支援課 【人工】市HP「子育て便利帳」の更新と幼稚園ガイドブックの作成で0.1人工 【経費】直接経費は些少のため補足せず こども家庭課 【人工】保育所ガイドの作成で0.1人工 【経費】直接経費は些少のため補足せず	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	子育て支援課 幼稚園ガイドは、これから幼稚園の入園を考えている保護者が必要とする内容になっているか検討が必要 こども家庭課 特になし	
H21年度の実組み内容 【予定】	子育て支援課 幼稚園PTA連合会に協力してもらい、幼稚園の保護者が読みたくなる内容を検討する。 こども家庭課 市の広報やホームページによる情報の提供と、保育所ガイドによる保育所等に関する情報の提供を引き続き実施する。	

今後はどうしたい？
【これからの事業展開】

子育て支援課
子育てガイドブックは、市内の企業に協賛してもらうなどして毎年発行していきたい。
こども家庭課 毎年の発行

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	子育て支援課、こども家庭課
事業名	教員・保育士の研修	
計画体系	1 - (4) - 幼稚園・保育所の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	よりよい保育のために、教員・保育士の研修を充実します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<p>子育て支援課 私立幼稚園振興会の研修は、H20年度は行われなかった。</p> <p>こども家庭課 市保育所連絡協議会で年3回研修会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの発達段階に合わせた体育あそび」(実技指導) 6月実施 ・「保育と絵本」(講演) 9月実施 ・保育士等先進地視察研修(子育て支援センター、ちあふる・とよひら等) 10月実施 	
石狩市私立幼稚園振興会 石狩市保育所連絡協議会	それぞれ、市内の幼稚園、保育園(へき地保育所含む)による全市の連絡協議会。主に課題研究や幼稚園教諭あるいは保育士の資質向上のための研修に取り組んでいる。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	子育て支援課 こども家庭課	なし 研修用講師謝金 7万円(市費計上)
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	子育て支援課	<p>幼保の連携を取り進めていく必要があるが、幼稚園教員と保育士の枠を超えての研修・交流は難しい現状にある。また、それぞれの幼稚園において教育方針が異なるため、幼稚園間においても求める研修内容に相違があるように思われる。</p> <p>こども家庭課 特に無し</p>
H21年度の取組み内容 【予定】	子育て支援課	<p>幼稚園教育推進会議において、教育要領の改訂について講義を行った。</p> <p>こども家庭課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所連絡協議会 (年3回) 講演会 7月実施予定 実技研修 8月実施予定 先進地視察研修 10月実施予定
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	子育て支援課 こども家庭課	<p>保育所との合同の研修についても検討していく。</p> <p>今後も市保育所連絡協議会で検討の上、保育士等の要望に応じた内容の研修を実施していきたい。</p>

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	子育て支援課、こども家庭課
事業名	幼稚園・保育所との多機能化に向けての検討	
計画体系	1-(4)- 幼保一体化の研究	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	幼稚園と保育所の多機能化や役割分担等を研究します	
H20年度の実践 【具体的内容】	厚田区、浜益区において、就学前の子を持つ親子を対象に毎月1～2回程度、園の行事を通じて、子育て親子が交流するひろば(保育所地域活動事業)を実施	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	こども家庭課 【経費】 消耗品、総合共済保険料他 22万6千円	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	単に幼・保を統合するのではなく、地域の子育てに係わる関係機関との連携を進める機能を含めた総合的な子育て支援の中核施設についても検討を進めていく必要がある。	
H21年度の実践内容 【予定】	厚田区、浜益区において、就学前の子を持つ親子を対象に毎週1回程度、園の行事を通じて、子育て親子が交流するひろば(保育所地域活動事業)を実施	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	今年度から実施のひろば(保育所地域活動事業)については、参加者のニーズを踏まえ、地域の実情にあった事業展開を目指す。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども家庭課
事業名	認可外保育所等への助成や資質向上の指導・助言	
計画体系	1-(4)- 民間保育所等の支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	認可外保育所等の柔軟な保育サービスに対し助成するとともに、運営状況の実態把握及び指導を通じて保育サービスの質の向上に努めます	
認可外保育所	児童福祉法に基づく認可を受けていない保育施設の総称で、設置に関して規制はないが、入所児童数や運営形態等により知事に届出が必要な施設がある。保育を行う上では、職員配置基準、保育室の構造設備、非常災害対策等についての指導監督基準が示されている。利用できる家庭の制限はなく、利用料も施設と利用者の契約によって決められる。	
H20年度の実践 【具体的内容】	石狩市認可外保育交付金交付要綱に基づき、石狩共同乳児保育園たんぼぼ、乳幼児保育はらっぱ、保育ルームみつばちマーヤ、たくじょびるの4園に交付金を交付	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	市交付金 ・石狩共同乳児保育園 たんぼぼ 270万 ・乳幼児保育 はらっぱ 193万8千円 ・保育ルームみつばちマーヤ 23万4千円 ・たくじょびる 74万円	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	待機児童対策の一環から公費助成をしており、保育の資質向上を図るため、市保育所連絡協議会主催の保育士等研修会に参加を呼びかけしているが、人的体制の問題等により全園からの参加には至っていない。	
H21年度の実践内容 【予定】	同様に実施。 実施施設(たんぼぼ、はらっぱ、子どものへや)	
認可保育所	認可外保育施設への助成は、認可保育所待機児童の受け皿として実施しており、今後保育所整備により、待機児童の減少が想定されるなか、今後の認可外保育施設が果たす役割を再検証し、改めて市の支援のあり方を検討する必要がある。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	児童福祉法に基づく児童福祉施設。施設の広さ、保育士の数、給食設備などの一定の基準をクリアして認可された保育所。保護者が仕事や病気などの理由で0歳から小学校就学前の子どもの保育ができない場合に、子どもを預かって保育する。地方自治体が運営している保育所(公営)と社会福祉法人などが運営する保育所(私立)があり、認可保育所は公費により運営されている。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども家庭課
事業名	保育所の適正配置・入所数などの整備	
計画体系	1 - (4) - 効率的な保育所の運営	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	入所希望児童などが、すべての地域で、公平に保育サービスが受けられるよう整備します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	H18年度から広く議論を重ねた「いしかり保育所再編プラン」を策定し、これに基づき保育園の新設及び廃止を順次取り進めた。 新設： えるむの森保育園(定員90名:H20年4月) 廃止： はまなす保育園(定員30名:H21年3月) 高岡保育園(定員50名:H21年3月)	
いしかり保育所再編プラン	本市の慢性的な待機児童は、保育施設に地域的偏在が大きく関係していることから、H20年度までに再配置を行おうとするプラン。 緑苑台・花川東地区は今後の人口増加が予想されながら、保育園の空白地域であるため、2園を新設する一方、石狩川河口周辺では半径3km圏内に4園が集中しており、いずれも大幅な定員割れとなっていることから統廃合を行う。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【人工】 関係条例改正等 0.2人工 【事業費】 特筆すべき経費はなし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	統廃合により、入所児童家庭の不便を生じさせないよう、他の認可保育園への入園希望について、認可保育園間の転園とみなす等配慮を図った。	
H21年度の取組み内容 【予定】	H22年度へ向け、待機児童解消のため、保育所施設整備を検討(認定こども園)	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	待機児童の多い地域への保育所適正配置、聚富保育園、厚田保育園、はまなす保育園については、それぞれの地域の子育て拠点としての役割を担うよう、時間延長・対象年齢引下げ等、サービスの多様化を検討	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども家庭課
事業名	障がいのある乳幼児保育の向上にむけた整備	
計画体系	1 - (4) - 障がい児保育の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	障がいのある乳幼児の健やかな発達を支援し、身近な地域で安心して生活できるよう支援します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	石狩市障がい児保育交付金交付要綱に基づき、石狩仲よし保育園、南線光の子保育園、友愛保育園、まきば保育園、緑苑台子どもの家保育園の5園に交付金を交付	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	市交付金 ・石狩仲よし保育園 72万円 ・南線光の子保育園 282万円 ・友愛保育園 60万円 ・まきば保育園 72万円 ・緑苑台子どもの家保育園 144万円	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	障がい児保育のを実施していない園では、健常児と障がい児の兄弟姉妹が入所希望している場合、同一保育園での保育が困難になるケースの場合もあり、今後、改善に向け検討が必要	
H21年度の取組み内容 【予定】	引続き継続して実施する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	実施園拡大に努め、障がい児保育の充実と兄弟姉妹同一保育園での保育が可能となるよう図る。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	協働推進・市民の声を聴く課
事業名	男性を含めた働き方の見直し・多様な働き方の実現	
計画体系	1 - (5) - 男女共同による子育ての推進	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	男女が共に子育てに参加し、仕事と家庭のバランスがとれるよう多様な働き方の見直し等の意識の浸透等を進めるため、講習会・広報等による啓発活動を行います	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会における男女平等の意識づくり 男女共同参画週間の取り組み(パネル展、ビデオ上映、意識調査など) 啓発パンフレットの作成・配布等(ワーク・ライフ・バランス、育児・介護休暇に対する助成制度) 介護の社会化と男女共同参画の促進 認知症サポーター養成講座の開催 	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画週間の取り組み(パネル展、ビデオ上映、意識調査など) 【経費】なし 【人力】準備期間:職員2人で1週間程度、当日(5日間):職員1人 啓発パンフレットの作成・配布等 【経費】消耗品費(色上質紙):1万円程度 【人力】職員1人で30日程度 認知症サポーター養成講座 【経費】なし 【人力】職員1人で1週間程度 	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	子育て世代に対する取り組みが十分ではなかった。	
H21年度の取組み内容 【予定】	<ul style="list-style-type: none"> 家庭・地域社会における男女平等の意識づくり 男女共同参画週間の取り組み 男女共同参画社会への啓発活動の推進 男女平等に関する市民意識調査を実施 男女がともに担える介護環境の整備 就労や社会活動を継続していくために、家庭での介護を男女がともに担うことを目的として、認知症についての講座を開催 	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	男女平等の意識づくりを進めていく上で、女性も男性も仕事と家庭のバランスを保つことは重要な課題であり、事業所の理解・協力が必要であることから、事業所に対して『ワーク・ライフ・バランス』の考え方や各種制度の周知、意識啓発を実施していきたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	職員課、商工労働観光課
事業名	事業所等への育児支援制度の周知、啓発	
計画体系	1 - (5) - 子育てを支援する就労づくり	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	育児休業等の取得率等の向上に向け、事業所等に意識啓発・周知活動を行います	
H20年度の取組み 【具体的内容】	職員課 育児短時間勤務制度導入準備(H21.4.1施行) 商工労働観光課 特になし	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	職員課 経費:なし 商工労働観光課 特になし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	職員課 特になし 商工労働観光課 特になし	
H21年度の取組み内容 【予定】	職員課 早出遅出勤務制度の導入検討 商工労働観光課 特になし	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	職員課 出産・育児に柔軟に対応できる勤務時間、休暇取得体制の整備 商工労働観光課 特になし	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度	児童館
事業名	児童館等の充実	
計画体系	1 - (5) - 子育てを支援する就労づくり	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	児童が安全に過ごせる放課後や居場所づくりのために、児童館やミニ児童館を充実します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	児童館運営事業を実施 ・児童館4館 放課後子どもプランを実施 ・放課後児童健全育成事業を実施(放課後児童会) 11か所開設運営 ・放課後子ども教室(ミニ児童館)を実施 5か所開設運営	
放課後子どもプラン ・放課後児童健全育成事業(厚労省)と放課後子ども教室推進事業(文科省)を連携・一体的に事業展開し、放課後の総合対策として安全で健やかな子どもの居場所を提供する。	・保護者が労働等により昼間家庭にいない概ね10歳未満の児童に対して、放課後に適切な遊びや生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業(児童福祉法第6条の2第2項) ・H18年度に国から示された放課後子どもプランの取組みとして、ミニ児童館事業において教育委員会所管の「地域子ども教室」を再編して、「放課後子ども教室」として実施	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	放課後児童健全育成事業:指導員人件費等3,315万円、報償費13万円、消耗品費146万円、役務費13万円、委託料1,055万円、備品購入費200万円、負担金等6万円 合計4,748万円 放課後子ども教室:指導員賃金等355万円、報償費9万円、消耗品費62万、役務費17万円、委託料669万円、原材料費1万円 合計1,113円	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	児童館運営事業 ・花川児童館の移設(こども発達支援センターが手狭の状態) ・児童館の老朽化による改修及び樽川地区児童館建設の検討 放課後児童健全育成事業 ・待機児童の解消 ・花っ子クラブの移設(花川小学校通級による余裕教室がなくなるため) ・児童指導員の確保 ・サービスのあり方について保護者の要望をどのように取り入れていくか検討が必要である。 放課後子ども教室 放課後子どもプラン未実施小学校区の解消(厚田区・浜益区)	
H21年度の取組み内容 【予定】	放課後児童健全育成事業 ・利用状況における再編 聚富小学校区クラブの一時休止 ・基本サービスの充実 児童指導員の待遇改善(職員の非常勤化、月額報酬制) 放課後子ども教室 厚田区5回、浜益区5回、両区合同1回開催	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	放課後児童健全育成事業 待機児童の解消対策を重点課題として取り組む。 放課後子ども教室 本事業の基本方針である地域ボランティア活用による市民協働型の事業展開を図る。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度	こども家庭課
事業名	特別保育事業の充実	
計画体系	1 - (5) - 子育てを支援する就労づくり	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	共働き世帯の就労形態の多種多様化に対し、柔軟に対応できるよう特別保育事業を充実します	
特別保育事業	延長保育、休日保育、障がい児保育など就労形態の多種多様化に対応するための子育て支援事業と、育児相談や就労状況に関わらず利用できる一時保育所、地域子育て支援センター等場所の支援	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育、一時保育、障がい児保育 ・障がい児保育の実施 ・休日保育、病後児保育を実施 	
認可保育所	児童福祉法に基づく児童福祉施設。施設の広さ、保育士の数、給食設備などの一定の基準をクリアして認可された保育所。保護者が仕事や病気などの理由で0歳から小学校就学前の子どもの保育ができない場合に、子どもを預かって保育する。地方自治体が運営している保育所(公営)と社会福祉法人などが運営する保育所(私立)があり、認可保育所は公費により運営されている。	
かかった経費は？(又は人材は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児保育事業(交付金) 630万円 ・病後児保育事業(委託料) 320万円 ・延長保育事業(交付金) 3,298万7千円 ・一時保育事業(交付金) 432万円 ・休日保育事業(交付金) 63万円 	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	国の補助制度が廃止されていることもあり、近年利用実績に応じた補助金額となっている。	
H21年度の取組み内容 【予定】	引続き課題解決にあたり共に特別保育事業の充実に取り組む。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	変化する保育ニーズに対応した保育サービスを展開すると共に、常にタイムリーなサービス提供を基本としたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども家庭課
事業名	児童手当助成事業	
計画体系	1 - (6) - 児童手当・乳幼児医療費等の助成	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子育てで家庭の生活の安定と子どもの健やかな育みを目的に、子どもと生計関係のある父母等に手当を支給します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	児童手当法に基づく手当を支給(支給延児童数 71,583人)	
児童手当	<ul style="list-style-type: none"> ・対象年齢:小学校修了前の児童 ・月額:第1子 5千円、第2子 5千円、第3子以降1人増すごとに10千円加算する。3歳未満は一律1万円 ただし給付には所得による制限がある。 	
かかった経費は？(又は人材は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 支給額 4億5493万5千円	【人工】 1人(通年担当)
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし	
H21年度の取組み内容 【予定】	H20年同様に実施	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	引続き実施	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども家庭課
事業名	乳幼児医療費の助成事業	
計画体系	1 - (6) - 児童手当・乳幼児医療費等の助成	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	乳幼児に対し、医療費の一部を助成します	
H20年度の実績 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児医療費を支給(受給者数:3,340人、件数:51,260件) ・道の制度を活用し、H21年度から公費助成の拡大を検討 	
乳幼児医療費	対象年齢:就学前まで 給付の範囲:保険内診療の医療費の内、自己負担限度額を超えた分を助成 自己負担額(外来・入院) 初診時一部負担のみ(医科580円・歯科510円・柔整270円)	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 支給額 9,813万9千円 【人工】 1人(通年担当)	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	H21年度事業を拡大したことにより、特にない。	
H21年度の実績内容 【予定】	対象年齢:小学校修了前まで入院のみの助成(所得制限あり) 自己負担額(入院) ・非課税世帯 初診時一部負担のみ(医科580円・歯科510円・柔整270円) ・課税世帯(所得制限内の場合) 1割負担	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	子育て家庭支援に重要な事業であり、更なる拡大の必要性についても引き続き検討	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	子育て支援課、学校教育課
事業名	就園奨励費、就学援助等の助成事業	
計画体系	1 - (6) - 幼稚園等の奨励費など各種制度の実施	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	幼稚園に通わせる家庭に就園奨励費の支給や経済的理由による就学困難な小・中学校児童生徒に就学援助費を支給します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	子育て支援課 幼稚園就園奨励費:対象者数 800人 学校教育課 ・(小中学校)就学援助費:支給者数 1,296名 ・(小中学校)特別支援教育就学奨励費:支給者数 25名	
就園奨励費	幼稚園に通わせる家庭に所得に応じて保育料等の一部を補助する事業(基本的には、補助額のうち国が3分の1、残り3分の2を市町村が負担)	
就学援助	就学援助費:経済的理由による就学困難な小・中学校児童生徒に援助費を支給するもの(準要保護者については、H17年度より三位一体改革による税源委譲により補助金が廃止され、交付税措置による一般財源化となった。) 特別支援教育就学奨励費:特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため奨励費を支給するもの	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	子育て支援課 【経費】幼稚園就園奨励費 65,565,700円(国補助金17,381,000円、市一般財源48,184,700円) 【人工】0.35人工 学校教育課 ・就学援助費 1億629万3千円(国庫補助金 19万5千円、市一般財源 1億609万8千円) ・特別支援教育就学奨励費 136万8千円(国庫補助金 33万4千円、市一般財源 103万4千円)	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	子育て支援課 就園奨励費補助事業は、補助額のうち国が3分の1、市町村が3分の2を負担することが基本原則となっているが、実際の国の負担は4分の1程度で、市町村の負担が大きくなっている。 学校教育課 就学援助費はH17年度に認定基準の見直しを実施したが、認定率が年毎に上がり、H20年度末には25%を超えるまでになっている。	
H21年度の取組み内容 【予定】	子育て支援課 国の基準の改正に基づき、補助限度額を拡大 学校教育課 継続実施	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	子育て支援課 今後も国の基準に準拠し、継続して実施していきたい。 学校教育課 近隣他市の認定率、支給状況等を勘案した上で、今後も当市の認定率が他市と比較し突出する状況が続くようであれば、なんらかの見直しは検討せざるを得ないとする。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども家庭課、児童館
事業名	利用者負担のあり方の検討	
計画体系	1 - (6) - 費用負担の在り方	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	保育料、各種助成事業など、利用者負担のあり方等を検討します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<p>こども家庭課 へき地保育料については、合併後新市において統一できるよう調整することとなっているため、H20年度より段階的統一に向け、調整中。平成22年度より統一保育料</p> <p>児童館 放課後児童健全育成事業 ・サービスの拡充 待機児童解消対策 南線小校区1クラブ開設、閉会時間の延長(18:00 18:30) 学校長期休業期間の一時保育の実施</p>	
認可保育所	<p>児童福祉法に基づく児童福祉施設。施設の広さ、保育士の数、給食設備などの一定の基準をクリアして認可された保育所。保護者が仕事や病気などの理由で0歳から小学校就学前の子どもの保育ができない場合に、子どもを預かって保育する。地方自治体が運営している保育所(公営)と社会福祉法人などが運営する保育所(私立)があり、認可保育所は公費により運営されている。</p>	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>こども家庭課 特にかかった経費等はなし 児童館 特筆すべき経費等はなし</p>	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	<p>こども家庭課 保育料の軽減は、国の徴収基準とのさらなる乖離を生じ、市負担の増加を招くことにつながり、費用対効果を慎重に検討する必要がある。 一方、未婚の母子家庭における保育料算定において税法上の寡婦控除扱いとならないため、既婚の母子家庭と不均衡が生じており検討が必要である。</p> <p>児童館 有料化後のサービスのあり方について保護者の要望をどのように取り入れていくか検討が必要である。</p>	
H21年度の取組み内容 【予定】	<p>こども家庭課 当面保護者負担と入所状況を比較しながら注意深く状況把握に努めるとともに、税法措置の改正要望さらには、減免措置により適用が可能か検討。</p> <p>児童館 サービスのあり方について保護者の要望をどのように取り入れるかの取組みをする。</p>	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	<p>こども家庭課 国の徴収基準額の改定を除き、目下のところ状況把握の結果により判断したい。</p> <p>児童館 費用対効果を考慮し、適正な受益負担を継続して検討する。</p>	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	子育て支援課
事業名	家庭教育学級の充実	
計画体系	2 - (1) - 幼児教育の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	家庭を見つめ直し、自信の持てる子育てができるよう父親や地域を取り込むなど、家庭教育の充実を図ります	
H20年度の取組み 【具体的内容】	主に在宅子育て家庭の親を対象に、親育ちワークショップ「つけよう！ほめ日記」を実施し、親自身の育児力と親同士のコミュニケーション力の向上を図った。 日時：平成20年7月13日（日）10:00～12:00 講師：自己尊重プラクティス協会 手塚千砂子氏 参加者：15名（託児あり）	
かかった経費は？（又は人力は？） 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 講師謝金：50千円 託児謝金：19千円 【人工】 0.01人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	核家族化等により家庭教育力が低下しているといわれる中で、子育てサークルなど自主的に運営する子育てリーダーの存在が重要になる。ワークショップなど一過性の事業に終わらせずに、継続した親育ち支援と、次の担い手にバトンタッチするようなくみがなければならぬ。	
H21年度の取組み内容 【予定】	NP（ノーバディーズパーフェクト）ファシリテーター養成事業 ・日時：平成21年7月30日～8月2日 6時間×4日間=24時間連続講座 ・内容：NPプログラムを実施できるファシリテーターを養成する。 ・対象：子育てネット会議に参集する子育て支援者12名	
ノーバディーズパーフェクト	「完璧な親なんていない！」をコンセプトに組み立てられた、カナダ発の乳幼児を持つ親を対象とするプログラム。参加する親は抱えている悩みや関心のあることをグループで出し合って話し合いながら、必要に応じてテキストを参照して、自分にあった子育ての仕方を学ぶ。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	公民館事業「ぴよぴよ広場」と連動して、参加者が主体となれる講座を実施する。また、NPファシリテーターが継続的に事業展開できるよう、ネット会議の中で連携を図ることが望ましい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	子育て支援課
事業名	幼児教育のあり方の研究	
計画体系	2 - (1) - 幼児教育の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	幼児教育の振興や幼稚園・保育所等と小学校との連携などを研究します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	本市の幼児教育振興施策である私立の幼稚園教育振興交付金のあり方について、障がい児教育へのシフトなど見直しを行った。	
かかった経費は？（又は人力は？） 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特になし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	幼児教育の振興施策の検討を行ったが、幼児教育そのものの研究については、市の行政事務としての位置付け・役割を関係機関等とまだ十分協議が必要である。	
H21年度の取組み内容 【予定】	次世代計画の見直しを通して、幼児教育のあり方について再検討する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	市内幼稚園5園は全て私立（私学）であり、もとより私学は独自の建学の精神と理念に基づき教育がなされるのもので、行政の関与は最小限に止めなければならない。また学校法人の監督官庁は都道府県であり、市町村として私学の教育・運営について関与でき得る法的な根拠は見当たらない。このことから、今後幼児教育そのものを研究するのか、あるいは私学の研究を支援するのか、あるいは、幼児教育に市が求めるものを幼稚園に提案・奨励していくのか、再度方向性を確認する必要がある。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度(新規)	地域教育推進室(企画調整担当)
事業名	幼稚園、保育所等と小学校教員との交流研修	
計画体系	2 - (1) - 幼児教育の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子ども一人ひとりに応じた指導などの向上にむけ、幼稚園等との交流や研修を行います	
H20年度の取組み 【具体的内容】	幼稚園、保育所の園児、児童が小学校に出向き授業参観をしたり幼稚園、保育所と小学校が共同で行事を行うなどそれぞれの地域において教員等間も含め交流が進められた。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	なし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	地域ごとに工夫しながら取組みを進めているが、全地域での実施に至っていない。	
H21年度の取組み内容 【予定】	これまでの各地域での実践継続に加え、中学校区の統一指導目標に基づいた幼保小中、各校種ごとに指導の実践と交流	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	幼保小中の一貫性・連続性を目指した指導の実践と実践に向けた情報共有などによる教員等間の交流促進	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	子育て支援課
事業名	幼稚園教育の振興	
計画体系	2 - (1) - 幼児教育の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	人間形成の基礎を培う幼児期の教育を充実するため、環境整備や障がいのある子どもの受入れ、特色ある教育活動等を支援します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	私立幼稚園教育振興交付金を市内5園に交付 ・交付対象事業 幼児用図書等整備支援事業(園児数に応じて交付) 障がい児教育支援事業(障がい児受入れ園に対し障がいをもつ園児数に応じて交付) 水泳学習事業(プールを利用した水泳学習の実施に対して交付) 預かり保育事業(預かり保育を行う園に交付)	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 私立幼稚園教育振興交付金:971万2千円 幼児用図書等整備支援事業 (438万2千円(園割 5園×10万円、園児数分 647人×6千円)) 障がい児教育事業(377万円(4園 27人×13万円、6万5千円×4人)) 水泳学習事業(56万円(5園 104人×プール指導員5千円、他プール使用料4万円)) 預かり保育事業(100万円(5園 5園×20万円)) 【人工】 0.08人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	軽度発達障がいには潜在的な増加傾向にあり、今後障がいを持つ幼児に対する支援は重要課題と考える。	
H21年度の取組み内容 【予定】	軽度発達障がい児の就園支援を段階的に重点化 園児1人当たり交付金額(H20)13万円 (H21)16万円 (H22)17万円	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	幼稚園教育における重点課題を見直しながら教育活動を支援していきたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	学校教育課
事業名	福祉、環境、道徳教育の推進	
計画体系	2 - (1) - 豊かな心と健やかな体を育む教育環境の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもたちの豊かな人間性や社会性などを育むため地域の人材や副読本等を活用し、学習内容の充実を図るとともに、指導者の研修機会を提供します	
H20年度 of 取組み 【具体的内容】	副読本等を活用した各教科の中での学習・福祉施設への訪問活動、ごみ拾い、花壇整備、植樹や学校版環境ISOなど環境学習、ユネスコ活動、その他ボランティア活動など	
学校版環境ISO	環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の考え方を取り入れたシステムで、各学校において、環境保全、資源の有効活用や環境への負荷の軽減など、環境にやさしい学校づくりに向けた行動に取り組み、それを点検・記録し、見直すことで次の行動に生かしてもらおうもの。石狩市では、H16年度から学校版環境ISO推進モデル校として取り組んでいる。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	社会科副読本作成費302万4千円(小3、4 ただし、H20・21配布分)・環境副読本(中1「環境家計ノート」については在庫活用)・福祉人権読本(小5、6 在庫活用)	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし	
H21年度 of 取組み内容 【予定】	継続実施(学校版環境ISOは各学校で児童生徒の省エネ等に対する意識の高まりにより各種取組みが行われている。また、新学習指導用要領の実施(H23(小学校)、H24(中学校))に向け段階的に道徳副読本を購入。)	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	現行の事業をより充実させていく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度	児童館、市民図書館
事業名	親子のふれあいの場の創出	
計画体系	2 - (1) - 豊かな心と健やかな体を育む教育環境の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子育て家庭が気軽に利用できる自由な交流の場として、絵本の読み聞かせや親子食事セミナー等を企画します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<p>児童館 各児童館において利用できない長期休み期間、コミュニティセンターで幼児開放を実施 ・花川北児童館 195回、花川南児童館 186回、おおぞら児童館 189回、 花川児童館 192回 ・北コミセン 5回、南コミセン 5回</p> <p>図書館 「子どもの読書推進事業」を実施 うち、関連するものを以下に列記 ・本館おはなし会(毎月第1・3・5土曜/第2・4日曜、その他不定期で開催) ・花川南分館おはなし会(毎月第2土曜) ・八幡分館おはなし会(毎月第4土曜) ・ブックスタート(りんくる会場月1回、厚田・浜益区は随時) ・「あかちゃんと絵本のへや」(乳児への絵本紹介)(月1回) ・乳幼児健康相談での絵本紹介(年8回) ・図書館まつり(年1回)でのおはなし会</p>	
幼児開放「ころころ」 (再掲)	放課後児童会の利用しない時間を活用し、親子で楽しめる遊びを通してふれあいを深めていき、乳幼児の発達を促したり、親同士の相談や交流を深めていく。	
子どもの読書推進事業	ブックスタート対象の0歳児に始まり、学校図書室支援による児童生徒までの子どもの読書環境の整備に包括的に取り組む事業	
ブックスタート	赤ちゃんの心とことばを育むため、乳児健診(10か月児健診)時に地域のボランティアが赤ちゃんと保護者の方へ1対1で絵本の読み聞かせを行い、図書館職員が保護者一人一人へブックスタートバックを手渡す。このことを通し、絵本のもつ力を保護者の方に理解していただき、家庭での絵本読み聞かせを啓発する。	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>児童館 専任指導員賃金 223.7万円、報償費 5万円、需用費 31万円、使用料及び手数料 0.3万円 合計 273万円 (再掲)</p> <p>図書館 【経費】 消耗品 588千円、公演謝礼 150千円</p>	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	<p>児童館 子育て支援サークル活動を実施している団体の利用が少なかった。</p> <p>図書館 ・読み聞かせを行うことのできる人材の減少 ・花川南、八幡分館でのおはなし会への参加人数の低迷 ・ブックスタート後のフォローアップ(継続的な読み聞かせの啓発)</p>	
H21年度の取組み内容 【予定】	<p>児童館 子育て支援サークル活動団体が気軽に利用できる施設として開放し、子育て支援を拡大する。</p> <p>図書館 「子どもの読書推進事業を継続実施」 うち、関連するものを以下に列記 ・こどもの読書週間記念行事「1日中おはなし会」 ・本館おはなし会(毎月第1・3・5土曜/第3・4・5日曜、その他不定期で開催) ・ブックスタート(りんくる会場月1回、厚田・浜益区は随時) ・1才6ヶ月健診会場での読み聞かせ(年4回) ・「あかちゃんと絵本のへや」(乳児への絵本紹介)(月1回) ・人材育成を目的とした講座等の実施 ・子どもと絵本に関する講演会(年1回) ・図書館まつり(年1回)</p>	

<p>今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】</p>	<p>児童館 参加者の要望等を参考にしながら引続き実施予定 図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭がより多くの読み聞かせに参加できるよう、読み聞かせのできる人材を増やすための講座の開催、おはなし会の回数の増及び読み聞かせボランティアの活動を支援する環境を整える。 ・本館から離れた地区の子育て家庭が参加しやすいおはなし会の開催条件(時間、場所等)の検討 ・ブックスタート後のフォローアップ事業の構築
----------------------------------	--

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	地域教育推進室(企画調整担当)
事業名	男女共同参画意識の高揚	
計画体系	2 - (1) - 豊かな心と健やかな体を育む教育環境の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	次代の親となる中高校生と乳幼児とのふれあいの機会など、子どもや家庭の大切さへの理解や男女が協力して家庭を築く意義等の学習の機会を充実します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・職業体験学習実施に向けた受入れ事業所等に関する相談・情報提供 ・商工会議所へ協力依頼 	
職業体験学習	主に中学生の勤労観、職業観を身につけさせるため、各事業所において職場体験を行う学習活動	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	なし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	生徒の希望に沿った受入れ事業所の確保	
H21年度の取組み内容 【予定】	市内全中学校で実施予定	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	受入れ可能な事業所の開拓	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	公民館
事業名	体験型学習や体験型社会見学等の充実	
計画体系	2 - (1) - 豊かな心と健やかな体を育む教育環境の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	社会の変化の中で主体的に生きていくことができるよう様々な体験の機会を充実します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども体験広場 主催: 公民館 期間: 季節に合わせ3回 参加者: 75名 内容: 子ども達の生きる力を育むため様々な体験をする機会を提供する。 テーマは「四季」 対象: 小学4～6年生 ・夏の海! ヨットに乗ろう 6月29日(日) 38名 ・秋の鮭つりキャンプ 10月4～5日(土日) 20名 ・すすめ! 冬山たんけん隊 2月28日(土) 17名 	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども体験広場 【経費】 公民館が支出 2万4千円 【人工】 毎回準備に職員1名で3日、当日は職員3名、有償ボランティアが2名 	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	<ul style="list-style-type: none"> ・天候に左右されやすい。 ・学校等の行事と重ならないよう留意する必要がある。 	
H21年度の取組み内容 【予定】	未定	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	様々な市民団体との協働により、充実した事業が可能になることから、今後も市独自ではなく、いろいろな機関や団体との協働を図っていく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	市民図書館
事業名	子どもの読書活動推進	
計画体系	2 - (1) - 豊かな心と健やかな体を育む教育環境の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもの豊かな心を育むため、幼児期から成長段階に即した読書の普及を推進します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<p>「子どもの読書推進事業」を実施 うち、関連するものを以下に列記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの読書週間記念行事(おすすめ児童書特集コーナーの設置、ビデオ上映会) ・本館おはなし会(毎月第1・3・5土曜/第2・4日曜、その他不定期で開催) ・花川南分館おはなし会(毎月第2土曜) ・八幡分館おはなし会(毎月第4土曜) ・乳幼児健康相談での絵本紹介(年8回) ・施設等への絵本貸出(市役所1階遊戯コーナー、こども相談センター) ・子どもと絵本に関する講演会(年2回) ・図書館まつり(年1回) <p>【学校への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書室支援事業(対象:厚田中学校) ・学級団体貸出(参加校13校) ・図書整理指導(不定期) <p>【文庫への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内文庫への団体貸出 	
子どもの読書推進事業	ブックスタート対象の0歳児に始まり、学校図書室支援による児童生徒までの子どもの読書環境の整備に包括的に取り組む事業	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 消耗品 588千円、公演、講演会謝礼 160千円	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせのできる人材の減少 ・花川南、八幡分館でのおはなし会への参加人数の低迷 ・本館から離れた地区の子どもに対する、分館を中心とした読書環境の整備 	
H21年度の取組み内容 【予定】	<p>「子どもの読書推進事業を継続実施」 うち、関連するものを以下に列記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの読書週間記念行事(おすすめ児童書特集コーナーの設置、「1日中おはなし会」の実施) ・本館おはなし会(毎月第1・3・5土曜/第3・4・5日曜、その他不定期で開催) ・施設等への絵本貸出(市役所1階遊戯コーナー、こども相談センター) ・子どもと絵本に関する講演会(年1回) ・人材育成を目的とした講座 ・図書館まつり(年1回) <p>【学校への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書室支援事業(対象:浜益小学校、浜益中学校) ・学級団体貸出(参加校13校) ・図書整理指導(不定期) <p>【文庫への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内文庫への団体貸出 	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達がより多くの読み聞かせに参加できるよう、読み聞かせのできる人材を増やすための講座の開催、おはなし会の回数の増及び読み聞かせボランティアの活動を支援する環境を整える。 ・本館及び本館から離れた地区での、子育て家庭が参加しやすいおはなし会の開催条件(時間、場所等)の検討 ・本館から離れた地区の子どもに対する、分館を中心とした読書環境の充実の推進 	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	スポーツ健康課、社会教育課
事業名	スポーツ、芸術文化活動の指導者の養成、普及	
計画体系	2 - (1) - スポーツ・芸術文化活動の支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもが生涯にわたって積極的にスポーツ・芸術文化に親しむことができるよう環境整備します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	スポーツ健康課 スポーツ活動の普及 ・カローリング教室・カローリング大会開催への協力 ・わんぱくスポーツスクールの開催 ・子ども向けスポーツ教室を開催している体育協会に対して、補助金の交付を通じての支援 スポーツ指導者の養成 ・スポーツ指導者養成事業を行っている体育協会に対し、拠出金の交付を通じての支援 社会教育課 市内小中学生を対象とした俳句コンテストを実施した。	
カローリング	室内で行うカローリング。ストーンの裏にジェットローラがついており、体育館などの床で競技を行う。	
わんぱくスポーツスクール	市内の小学5・6年生を対象に、宿泊を伴うスポーツ体験教室	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	スポーツ健康課 【経費】カローリング教室講師謝礼 4万円 【人工】0.02人工 【経費】わんぱくスポーツスクール(謝金等) 13万円 【人工】0.05人工 社会教育課 250,000円石狩市文化協会の事業として実施し、市教委は補助金を交付した。 (市教委は事務等を補助)	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	(カローリング) ・特定施設を常設することによる市民へのPR ・継続的に活動するサークルの育成 (わんぱくスポーツスクール) ・スポーツスクール卒業者のリーダー化 社会教育課 学校に依頼して作品を募集しているが、子どもたちが俳句に触れやすい環境をつくることも必要であると考えている。	
H21年度の取組み内容 【予定】	スポーツ健康課 ・カローリング教室の開催や他機関、団体が開催するカローリング事業への支援(継続) ・わんぱくスポーツスクールの開催(継続) ・子ども向けスポーツ教室を開催している体育協会に対し、拠出金を通じての継続的な支援(継続) ・スポーツ指導者養成事業を行っている体育協会に対し、拠出金を通じての継続的な支援(継続) 社会教育課 継続	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	スポーツ健康課 ・カローリングの継続実施を図るため、サークル等の組織化を支援 ・保健分野とスポーツ分野を融合した運動・栄養・休養のバランスを考えた子ども向け事業内容を検討し実施する。 社会教育課 石狩市の歴史に着目し、子どもたちにとっての心のふるさとづくりを目指した事業であるため、今後とも継続していく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	スポーツ健康課、社会教育課
事業名	スポーツ、芸術文化の観戦、鑑賞機会の充実	
計画体系	2 - (1) - スポーツ・芸術文化活動の支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもの意欲や能力・豊かな感受性を育むため、スポーツや芸術文化等の観戦・鑑賞の機会を充実します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	スポーツ健康課 石狩市スポーツ広場整備の実施 石狩市スポーツ広場本部席新築 (本部席新築、ダッグアウト) 石狩市スポーツ広場電気設備整備 (高圧電気設備、ナイター照明整備、便所照明整備、放送機器整備) 石狩市スポーツ広場整備 (グラウンド整備、スタンド整備、バックネット整備、内外野フェンス整備等) 社会教育課 学校出前ミニコンサートを市内の小規模7小中学校を対象に行ったほか、情操教育スタートプログラムとして、「おしゃべランド(ピアノと絵本の読み聞かせ)」をすべての市内小学校1年生を対象に行った。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	スポーツ健康課 【経費】 工事費 6,688.5万円 社会教育課 【経費】 51万5千円(謝礼金36万6千円、役務費1万5千円、使用料13万4千円) 【人工】 0.35人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	スポーツ健康課 選手や観客がスムーズに来場できるような交通アクセスの整備充実。 社会教育課 出前ミニコンサートは普段芸術鑑賞会を開くのが難しい小規模校で実施したこと、おしゃべランドは、芸術鑑賞に適したアートウォームを会場にしたことにより、子どもたちの反応も良く、大変効果的な事業になったと考えている。	
H21年度の取組み内容 【予定】	スポーツ健康課 ・全道・全国大会等イベントの積極的な誘致 ねんりんピック2009ソフトボール交流大会の実施 ・全市的なスポーツイベントの開催 石狩市民スポーツまつりの開催 社会教育課 小規模校を対象に学校出前ミニコンサートを、ピアノと絵本の読み聞かせをすべての 中学1年生を対象にした情操教育セカンドプログラム(ジャズの鑑賞)を試行する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	スポーツ健康課 全国大会や実業団・日本リーグ等のビッグイベントを誘致し、多くの市民にトップレベルのプレーを観る機会を提供するとともに、「スポーツ健康都市宣言のまち」「ソフトボールのまち」であることを積極的にPRする。 社会教育課 情操教育セカンドプログラムの恒例化	

計画での予定年次 / 担当課	平成19年度	社会教育課
事業名	地域サポーターの養成・活用(世代間交流等)	
計画体系	2 - (2) - 子どもの健やかな育成の推進	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもを個性豊かに育むため、地域の人材の有効活用や各種体験活動などを充実します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	H17年から実施している紅葉山小学校で地域のボランティアの協力を得て子ども教室を実施	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 0円(参加者から材料費のみ徴収) 【人工】 0.5人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	他の子ども教室(ミニ児童館)との事業内容の調整 27「児童館等の充実」参照	
H21年度の取組み内容 【予定】	紅葉山地域子ども教室(もっくる広場) 紅葉山小学校の児童を対象に、地域のボランティアの参画・協力を得て、様々な体験プログラムを実施し、地域とともに心豊かで健やかに育まれる環境づくりを支援する。全19回(レクリエーション、自然体験活動、工作など)	

今後はどうしたい？
【これからの事業展開】

紅葉山小学校がH21年度をもって統合されるので、その後については、地域の意向を踏まえながら事業展開を検討していきたい。

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	子育て支援課
事業名	育成協議会等の育成	
計画体系	2 - (2) - 子どもの健やかな育成の推進	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもに安心した地域・学校環境づくりや地域の教育力の活性化に向け、青少年健全育成活動を充実します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> 市内6地区の地域青少年健全育成協議会へ交付金を支出 各地区の子どもの安全・非行防止・声かけ運動等 Ishikari Teens Meeting 2009 の開催(6地区合同) 石中校区:祭典巡視活動など 花川南地区:サマーフェスティバル、少年少女意見発表会など 北中区:意見交流会(紅葉山子育て21!), 紅南ふれあい広場など 花中区:児童会・生徒会交流会、生活標語コンクールなど 厚田区:「厚田区子どもを育てる集い」、わらしこまつりなど 浜益区:小中高合同交通安全啓発運動、浜清掃、わらしこまつりなど 石狩市子ども会育成連絡協議会へ交付金を支出 各単位子ども会への活動支援 ジュニア・サブリーダー養成講座の実施(対象 小5、6 中1、2) 町のはらっぱ事業(市との共催) 	
地域青少年健全育成協議会 【育成協】	市内中学校を中心に小学校、地域及び家庭が連携した活動を行う協議会。祭典等の巡視やあいさつ運動の他、各育成協独自の取組みを行っている。H18年度より、厚田区、浜益区育成協も加わり、現在市内に6つの育成協が存在	
市子ども会育成連絡協議会 【市子連】	市内の単位子ども会(町内会の子ども会)指導者間の連絡及び指導者の研修や各種子ども向け事業を行う協議会(H20年度 構成単位子ども会42団体 3,755名)	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<ul style="list-style-type: none"> 地域青少年健全育成活動交付金 41.3万円【人工】0.04人工(交付金その他調整事務) 子ども会育成連絡協議会交付金 35.0万円【人工】0.13人工(交付金その他支援事務) 	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	(育成協) 育成協の活動内容の精査(育成協組織ならではの活動)が課題である (市子連) 地区により子ども数の減少などで子ども会活動が困難になっているところがあるなど、単位・ブロック子ども会の活性化が急務であり、指導者養成や子どもリーダー養成が課題である。	
H21年度の取組み内容 【予定】	H21年度は石狩市地域青少年健全育成協議会交付金交付要綱と石狩市子ども会育成連絡協議会交付金交付要綱を石狩市子ども健全育成事業交付金交付要綱に統合。各団体の実状にあった交付体制に見直された。	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	H20年度に合併した厚田・浜益区の育成協・ブロック子ども会の事例を検討材料とし、石狩地区内でもその地域事情にあった柔軟で効率的な組織のあり方や活動について、関係団体と検討していきたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度(新規)	地域教育推進室(企画調整担当)
事業名	幼稚園、保育所、児童館等と小学校・中学校との接続のあり方	
計画体系	2 - (2) - 子どもの成長に沿った連携の研究	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもの成長段階に沿って円滑に移行できるよう研究します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	H18年5月に設立した連携教育推進会議において、進捗状況の把握と連携教育に関わる情報提供を実施	
連携教育推進会議	小・中学校短期教職員交流の実績を踏まえ、幼稚園、保育所さらに高校も含め、一貫性のある指導を行うことを目的に市内幼稚園、保育所、小中高校教職員等で構成する会議	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	なし	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	校区によって取組み内容の充実度に格差がある。	
H21年度の取組み内容 【予定】	基本的な生活習慣など成長にそった連続性のある指導について中学校区において実施する。	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	幼保小中との連携を超え、地域、保護者を巻き込んだ連携につなげていく。 (地域全体で子どもを育てる体制づくり)	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども発達支援センター
事業名	医療、福祉、教育、保健、地域との連携体制の充実	
計画体系	2 - (3) - 個々のニーズに応じた支援体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	障がいの原因となる疾病や事故等の予防及び早期発見・治療等をはじめ、各分野の円滑な連携による療育を支援します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	石狩市地域自立支援協議会の中の療育支援部会に以前あった地域療育推進協議会を位置付けて医療・保健・福祉・教育との顔の見えるつながりと連携充実に努めた。	
地域自立支援協議会	地域における障害福祉に関する関係者による連携及び支援の体制に関する協議を行う会議の設置(障害者自立支援法第65条)	
地域療育推進協議会	障がい児の早期発見、早期療育の一貫した療育体制を整備し、関係者間の密接な連携により、総合的かつ効果的に療育等を推進するために設置	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	関係機関の協力を得た為、経費はかからなかった。	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	呼び掛け先の総人数は、60名と大所帯になること、また地域自立支援協議会の中の部会としての趣旨目的の違いが出てきている。	
H21年度の取組み内容 【予定】	個々のニーズに合わせる内容としては、地域自立支援協議会の趣旨、目的との違いがあることから、ねらいを明確にして、地域自立支援協議会とは違う組織(連絡会議)にしていく。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	子どものニーズに合わせた支援内容について協議する。療育への理解と、他職種との連携を図る。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	障がい支援課
事業名	児童デイサービス事業	
計画体系	2 - (3) - 個々のニーズに応じた支援体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	障がい児の集団生活への適応訓練や保護者の日常生活における基本的指導等を支援します	
児童デイサービス事業	未就学児から就学児(12歳未満)までの障がいや発達の遅れのある児童に対する個別・集団的適応訓練や放課後活動支援(「ばれっと」では中高生の就労訓練コースがある)	
H20年度の取組み 【具体的内容】	市直営の「こども発達支援センター」と民間事業所「ニコリ」及び「ばれっと」にて児童デイサービス事業を実施、障がい児の集団生活への適応訓練や保護者の日常生活における基本的指導等の支援を継続している。(H20年度、児童デイサービス利用者総数 136名) また、障害者自立支援法において児童デイサービスの対象が18歳未満とされているため、高等養護学校等の生徒が卒業までの間、継続して同様のサービスが活用できるよう、「継続的児童デイサービス」を暫定的に実施した。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	・介護給付費 2905万9千円(決算見込 - 継続的児童デイ含む) ・こども発達支援センター運営費 601万3千円 + 正職員給与(4人)	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	中高生の受入れが制度上(就学前児童の受入れを全体の7割としなければ、事業所が不利益を受けることから)困難であったが、「ばれっと」の開設で解消に向かいつつある。	
H21年度の取組み内容 【予定】	・早期療育の実現に向け、個々の子どもの発達段階に適合した療育環境の整備 ・小・中・高生の放課後活動支援の充実 ・「継続的児童デイサービス」を事業化した(単独)	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	・早期療育や個別療育の重点など一貫した療育実践の場としての要素と、放課後活動の場の確保など多様なニーズに応える連携システムの構築 ・発達障がいの支援体制の確立について検討する。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども発達支援センター
事業名	地域と連携した社会参加を促進する取組み	
計画体系	2 - (3) - 個々のニーズに応じた支援体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	障がい・発達に配慮を必要とする子どもが地域で安心して生活できるよう地域の理解・協力のもと交流等を通じた活動の機会を創出します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいに関する講演会を療育、教育連携により開催 ・H20.10.27「当事者から支援者として すべての子どもが輝くために」高山恵子氏（一般市民や子どもに係る関係機関への啓発）182名の参加 	
かかった経費は？（又は人力は？） 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】（発達支援センター）10万円（教育委員会）3万円 講演会の託児は社会福祉協議会とファミリー・サポート・センターの支援を得た。	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	講演会以外の「発達障がい」の理解の啓発はもっと必要であると思う。	
H21年度の取組み内容 【予定】	継続実施	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	発達障がいについての理解と発達障がいの子どもの特性について、わかりやすく理解していける内容を考え、それに合わせた講演会の開催などの実施	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	就学支援担当
事業名	特別支援教育の推進	
計画体系	2 - (3) - 個々のニーズに応じた支援体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	児童生徒の個々の教育的ニーズを支援するため、学校内の体制整備や指導方法等に関する実践研究に努めるなど、特別支援教育の円滑な導入に向けた取組みと実践に努めます	
特別支援教育	学習面、生活面などで困り感をもつ児童生徒（学習障がいなど）の教育的ニーズを把握し、その困り感を改善または克服するために必要な支援を行うもので、H19年度から実施された。	
H20年度の取組み 【具体的内容】	H20年度より新たに地域人材を活用した「特別支援教育支援員（＝学級支援員）」4名を4小学校に配置し、学校支援を実施	
かかった経費は？（又は人力は？） 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	H20年度新たな経費として、特別支援教育支援員報酬700千円×4名＝2,800千円	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ニーズに応じた特別支援教育支援員の配置 ・校内コーディネーターの活用 	
H21年度の取組み内容 【予定】	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員の増員 ・市コーディネーターと校内コーディネーターとの連携 	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	「困り感」のある児童生徒とその親を支援するための総合的な教育支援を体系的に整備し、その活用を図る	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	妊婦に対する相談支援の充実	
計画体系	3 - (1) - 妊産婦への健康支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	妊婦届出時の相談体制を強化します。また、若年や高齢、疾病を有するなど妊娠出産に困難をきたしやすい妊婦に訪問や電話相談などによる個別支援を充実します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	母子手帳交付は必ず保健師が対応し身体的・精神的・経済的不安の解消に努めた。また面接時ハイリスクと判断された妊婦については地区担当保健師が対応し、その後の電話フォローなどを行った。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	妊娠届出・相談数は1日2件程度	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	窓口での相談対応のためプライバシーが保たれなく、妊婦が本音を言えていない可能性がある。	
H21年度の取組み内容 【予定】	引続き妊娠届出時のアンケートを実施。併せて栄養アンケートも同時実施し、妊娠中か妊婦を含めた家族の食生活を見直す機会を持ってもらう。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	母子手帳交付時は相談しやすい雰囲気作りを心がけるとともに、ハイリスク者に対しては電話や訪問などで状況を把握し、スムーズに出産を迎えられるよう支援していく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	マタニティコースの充実	
計画体系	3 - (1) - 妊産婦への健康支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	妊婦の不安の解消や孤立化を防ぐため、交流を主体としたマタニティコースを実施します	
マタニティコース	妊婦とその夫または家族を対象に実施する健康教室	
H20年度の取組み 【具体的内容】	両親教室を年4回、日曜日に実施	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 助産師報償費 4万円 【人工】 保健師稼働 2名 * 4回	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	休日や夜間に教室を開催する等、内容や利便性の充実を図る。	
H21年度の取組み内容 【予定】	H20年度と同様に実施	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	妊娠届出時の面接を重視し、ハイリスク者への個別支援に努める。医療機関との連携を強化する。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	産後の母親の精神的負担の軽減	
計画体系	3 - (1) - 妊産婦への健康支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	産婦人科との情報交換・新生児訪問・4ヶ月児健診時に母親の精神状況を確認し、産後うつ等に対し支援します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	産婦人科とは電話や養育支援連絡票を用い継続した支援が出来るよう努めた。赤ちゃん訪問時は産後うつ等のスクリーニングである「3つの質問票」を用い、4ヶ月健診時は「子育てアンケート」により母の精神状態の把握に努めた	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	赤ちゃん訪問(産婦訪問)411件、4ヶ月児健診年12回465件	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	赤ちゃん訪問(産婦訪問)では93%の産婦の精神状況が把握できそのうち23%が母精神面でのフォローであった。しかし7%の産婦の状況把握は出来なく、4ヶ月健診でのアンケートで母の問題が浮き彫りとなるケースもあった。	
H21年度の取組み内容 【予定】	赤ちゃん訪問時の「3つの質問票」、4ヶ月健診での子育てアンケートを継続していく。産婦人科より継続支援があった場合はタイムリーに関わっていく。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	妊娠届出時よりハイリスクと判断された妊婦について本人の了解も得ながら妊娠期より積極的にケース連絡を行い、連携を図っていく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	妊婦健康診査要指導者等への支援	
計画体系	3 - (1) - 妊産婦への健康支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	産婦人科との連携による早期対応に努めます	
H20年度の取組み 【具体的内容】	・妊婦一般健康診査受診票の発行(5枚、35歳以上超音波券1枚) ・B型肝炎ウイルス陽性者に対する保健指導を医療機関に委託して実施することにより、医療機関と連携して健康支援	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	妊婦一般健康診査受診票829万円、超音波票38万円 計867万円	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	妊娠20～27週の届出が6名、妊娠28週以降の妊娠届出者が2名いた。	
H21年度の取組み内容 【予定】	妊婦一般健康診査受診票の発行を14枚に拡大、超音波検査受診票発行を全妊婦6枚に拡大	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	受診票枚数拡大により、早期の妊娠届出と定期的な健診受診を勧奨し、妊婦及び胎児の健康保持に努める。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課、子育て支援課
事業名	育児相談機関や子育て支援サービスの周知	
計画体系	3 - (2) - 育児相談・指導の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	母子保健情報の内容充実や母子手帳発行及び健診時にリーフレット等を活用し普及・啓発に努めます。また、転入者には母子保健情報や子育てガイドブック等を配布し周知します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<p>保健推進課 母子手帳発行時や訪問時、健診の際に配布。転入者には市民課にて母子保健情報を配布してもらった。</p> <p>子育て支援課 子育てガイドブックを発行し、市内幼稚園・保育園全家庭、各健診時、出生・転入時、市内子育てサークル、子育てひろば等に配布。また、子育てネットマガジンを出生・ブックスタートパック(10か月児健診時)に入れて配布。</p>	
子育てガイドブック	市の子育てに関する施策全般のほか、子どもに関する様々な機関や問い合わせ先、各種制度の手続きなど、市が発行している子育て総合情報誌	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>保健推進課 資料の作成 月1～2日、色上質紙など消耗品費は直接経費些少のため補足せず</p> <p>子育て支援課 【経費】 印刷製本費 336千円、イラスト謝金 2万円 【人工】 0.2人工</p>	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<p>保健推進課 出生後の赤ちゃん訪問では必ず手渡しを行っているが、時間外に転入届出があった場合は手渡せない可能性がある。</p> <p>子育て支援課 より見やすく、親しみやすい編集が求められている中で、幼稚園PTA連合会から意見をいただき、「目次・索引の充実」「小児救急・子どもの事故」「仕事と子育ての両立支援」等のページを充実させた。</p>	
H21年度の取組み内容 【予定】	<p>保健推進課 引続き配布を行っていくと同時に、子育て関連会議や集まりにて相談や健診など事業の周知を行っていく。</p> <p>子育て支援課 H20と同様に実施。特に「公園」のページを充実させる。</p>	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	<p>保健推進課 市民が手に入れやすいよう設置場所の見直しや拡大を検討していく。</p> <p>子育て支援課 市民ニーズに応じた最新情報(旬の話題や専門スタッフによるコラムなど)の掲載に努め、より実用性の高い情報誌を目指す。</p>	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課、公民館																																				
事業名	保健相談、育児教室の充実																																					
計画体系	3 - (2) - 育児相談・指導の充実																																					
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	乳幼児健康相談や電話・訪問による育児相談を推進します。また、子育て教室の対象拡大や内容の充実に努めます																																					
子育て教室	<ul style="list-style-type: none"> ・生後5～7か月の児と保護者を対象に実施。親子遊びや社会資源の紹介で1回、離乳食教室1回の1コースずつ実施(本庁) ・1歳～就学前児を対象に親子遊びや昼食会など年11回実施(浜益区) 																																					
H20年度の取組み 【具体的内容】	<p>保健推進課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て広場、乳幼児健康相談、電話・訪問による育児相談を継続実施 ・10代～20代前半の母親を対象としたヤングママの子育て交流会を、1回開催した。 ・去年度発足した双子を持つ親のサークル活動を支援 ・浜益区では就学までの児を対象にしたすくすくクラブやわんぱく遊び教室を実施。 <p>公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳半～3歳児の親を対象に、親子遊び、リラックスヨガ、子どもの心としつけのお話等を行う「びよびよ広場」を実施することにより、育児教室の充実に努めた。 																																					
びよびよ広場	<p>子育てに関する知識や技術等の向上に努め、参加者相互や子育てを支援する人々との交流を深めることにより家庭の教育力の向上を図るための事業</p> <p>びよびよ広場in花川</p> <table border="0"> <tr> <td>・開講式、オリエンテーション</td> <td>5月23日</td> <td>18組36名</td> </tr> <tr> <td>・実習「おもちゃ作り」</td> <td>5月30日</td> <td>15組30名</td> </tr> <tr> <td>・実習「リラックスヨガと子育ての話」</td> <td>6月6日</td> <td>14組27名</td> </tr> <tr> <td>・講義「親たちの生き方と子育て、しつけ」</td> <td>6月13日</td> <td>19組38名</td> </tr> <tr> <td>・実習「調理実習と栄養の話」</td> <td>6月20日</td> <td>14組28名</td> </tr> <tr> <td>・講義「子どもと一緒に楽しむ絵本 親も楽しんで」</td> <td>6月28日</td> <td>17組38名</td> </tr> <tr> <td>・講義「子どもの心」</td> <td>7月4日</td> <td>17組34名</td> </tr> <tr> <td>・バス遠足</td> <td>7月11日</td> <td>16組32名</td> </tr> <tr> <td>・託児ビデオ上映 開講式</td> <td>7月18日</td> <td>20組43名</td> </tr> </table> <p>びよびよ広場in八幡</p> <table border="0"> <tr> <td>・開講式、親子レクリエーション</td> <td>9月12日</td> <td>7組14名</td> </tr> <tr> <td>・リラックスヨガと子育ての話</td> <td>9月19日</td> <td>8組11名</td> </tr> <tr> <td>・講義「元気に子育てするために」、閉講式</td> <td>9月26日</td> <td>7組10名</td> </tr> </table>		・開講式、オリエンテーション	5月23日	18組36名	・実習「おもちゃ作り」	5月30日	15組30名	・実習「リラックスヨガと子育ての話」	6月6日	14組27名	・講義「親たちの生き方と子育て、しつけ」	6月13日	19組38名	・実習「調理実習と栄養の話」	6月20日	14組28名	・講義「子どもと一緒に楽しむ絵本 親も楽しんで」	6月28日	17組38名	・講義「子どもの心」	7月4日	17組34名	・バス遠足	7月11日	16組32名	・託児ビデオ上映 開講式	7月18日	20組43名	・開講式、親子レクリエーション	9月12日	7組14名	・リラックスヨガと子育ての話	9月19日	8組11名	・講義「元気に子育てするために」、閉講式	9月26日	7組10名
・開講式、オリエンテーション	5月23日	18組36名																																				
・実習「おもちゃ作り」	5月30日	15組30名																																				
・実習「リラックスヨガと子育ての話」	6月6日	14組27名																																				
・講義「親たちの生き方と子育て、しつけ」	6月13日	19組38名																																				
・実習「調理実習と栄養の話」	6月20日	14組28名																																				
・講義「子どもと一緒に楽しむ絵本 親も楽しんで」	6月28日	17組38名																																				
・講義「子どもの心」	7月4日	17組34名																																				
・バス遠足	7月11日	16組32名																																				
・託児ビデオ上映 開講式	7月18日	20組43名																																				
・開講式、親子レクリエーション	9月12日	7組14名																																				
・リラックスヨガと子育ての話	9月19日	8組11名																																				
・講義「元気に子育てするために」、閉講式	9月26日	7組10名																																				
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>保健推進課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て広場 保健師稼働4回 ・浜益 すくすくクラブ わんぱく遊び教室 消耗品費3万円 <p>公民館</p> <p>びよびよ広場in花川</p> <p>【経費】 170,640円</p> <p>【人工】 毎回準備に1人1日、当日は2人</p> <p>びよびよ広場in八幡</p> <p>【経費】 67,360円</p> <p>【人工】 毎回準備に1人1日、当日は2人</p>																																					
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<p>保健推進課</p> <p>子育て広場の参加をきっかけに、仲間同士で外出の機会を拓げていく親子が多かった。地域の子育て支援事業が充実してきているため、当課では自ら外出の機会を作れないケースや育児面等で気になる親子が、いずれかの場所、事業に参加できるような個別の働きかけを行う必要がある。</p> <p>公民館</p> <p>家にこもり孤立しがちな親子に参加を促すため、周知方法に一層の工夫が必要である。転入者が多く、若い世代の家庭が多いとみられる花川南、樽川地区にニーズが多いと考えられることから、開催を検討する。</p>																																					

<p>H21年度の取組み内容 【予定】</p>	<p>保健推進課 来所・電話・訪問による相談は随時行っていく。ヤングママの交流会は個別支援を行った上で、新しい対象者で再開する。生後10ヶ月～1歳のハイリスクな児と保護者を対象に教室を開催する。</p> <p>公民館 びよびよ広場in花川北</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開講式、オリエンテーション 5月26日 ・講義「子どもの心としつけの関係」 6月2日 ・鑑賞「絵本と実技 子どもと一緒に聞く」 6月9日 ・実習「調理実習と栄養の話」 6月16日 ・講義「親たちの生き方と子育て しつけ」 6月23日 ・実技「リラックスヨガと子育ての話」 6月30日 ・参加者の希望により企画 7月7日 ・託児ビデオ上映、閉講式 7月14日 <p>びよびよ広場in花川南</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開講式、オリエンテーション、親子レクリエーション 9月3日 ・実習「調理実習と栄養の話」 9月10日 ・実技「リラックスヨガと子育ての話」 9月17日 ・徒歩遠足 10月1日 ・講義「親たちの生き方と子育て しつけ」、閉講式 10月8日
<p>今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】</p>	<p>保健推進課 地域の子育て支援事業の充実に伴い、当課ではより個別支援、ハイリスク者への支援を重視していく。</p> <p>公民館 子育て支援や家庭教育の重要性が強く指摘される中において、今後も必要とされる課題の把握に努めながら実施するとともに、参加者同士の交流が一層図られるよう進め方を工夫する。</p>

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	乳幼児健診体制の充実	
計画体系	3 - (2) - 育児相談・指導の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	乳幼児健診の体制・内容を見直し、混雑の解消や相談しやすい体制を整備します。また、育児不安のある保護者には訪問等の事後支援を行います	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・各乳幼児健診を月1回、半日体制で実施した ・10ヶ月児健診時には図書館事業であるブックスタート事業をあわせて実施した 	
ブックスタート	赤ちゃんの心とことばを育むため、乳児健診(10か月児健診)時に地域のボランティアが赤ちゃんと保護者の方へ1対1で絵本の読み聞かせを行い、図書館職員が保護者一人一人へブックスタートパックを手渡す。このことを通し、絵本のもつ力を保護者の方に理解していただき、家庭での絵本の読み聞かせを啓発する。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 医師報酬・看護師賃金・歯科衛生士賃金 364万円 【人力】 健診回数 年48回(栄養士36人/年、保健師144人/年、事務職員48人/年)	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	対象人数や場所の広さにもよるがつねに混雑していて、待ち時間が多い状況である。	
H21年度の取組み内容 【予定】	<ul style="list-style-type: none"> ・混雑の解消に努める。 ・支援が必要な親子の発見に努め、事後指導につなげる。 	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児健診での発達障がいスクリーニングの精度を向上する。 ・育児困難の解消につとめる。 	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課、こども相談センター
事業名	虐待の早期発見、予防	
計画体系	3 - (2) - 育児相談・指導の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	虐待予防ケアマネジメントシステム事業を展開し児童虐待の発生予防に努めます	
虐待予防ケアマネジメント事業	4か月児健診において、「子育てアンケート」として虐待要因を点数化し、スクリーニングを実施。ハイリスクケースについては、事後指導等を実施する。また、処遇困難ケースに対する検討会を実施する。	
H20年度の取組み 【具体的内容】	保健推進課 4か月児健診時に、子育てアンケートを実施し、虐待早期発見スクリーニングを行い、育児支援が必要な家庭に虐待予防に関する事後支援を行った。赤ちゃん訪問における産後うつスクリーニングも虐待予防の観点を含めて活用した。ハイリスク家庭の援助については虐待予防検討会にてケースの支援の検討を行った。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	保健推進課 臨時保健師120日分、臨時看護師30日分	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	保健推進課 赤ちゃん訪問の際はプライバシーや時間が確保されているので母を含めた家族の状況把握が出来るが、4ヶ月健診の中では時間やプライバシーの確保に制約があり、本音を聞き出せない場合がある。	
H21年度の取組み内容 【予定】	保健推進課 「3つの質問票」によるアンケート、子育てアンケートの継続実施 こども相談センター 保健推進課がハイリスクケースの予防の一環として実施しているケース対応会議に参加し、要支援家庭を把握し、養育支援訪問事業との連携を図る。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	保健推進課 ハイリスクケースに対しては子どもに関わる各機関と情報を共有し連携して関わっていく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	乳幼児健診未受診者への対応	
計画体系	3 - (3) - 健康診査及び事後支援体制の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	乳幼児健診の未受診者に電話・手紙・訪問などで健康状態の確認を行い健診の普及・啓発に努めます	
H20年度 of 取組み 【具体的内容】	未受診者に対して案内を再度送付した。その後も未受診の場合は電話や訪問で状況を把握を実施した。該当の健診に来れない場合は他健診時に来ていただくよう勧奨して実際にそのようにした方が数名いた。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】直接経費は些少のため補足せず 【人力】再度送る案内の事務処理に2日程度。状況確認の電話や訪問は地区担当が随時実施。	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	連絡がつきにくい。今までの健診も未受診の場合が多く、状況が把握できない。養育の困難さや子の発達に問題がある場合も多い。	
H21年度 of 取組み内容 【予定】	引続き文書での勧奨のほか、電話や訪問で状況確認を実施する。就労のため未受診も考えられるため、市内保育園と幼稚園に出向き相談や情報共有を実施する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	状況不明の子がいないように、未受診であればいろいろな手段で把握できるようにしたい	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度	保健推進課
事業名	健診事後指導の充実	
計画体系	3 - (3) - 健康診査及び事後支援体制の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	健診の結果、支援が必要な乳幼児に相談指導を行います。さらに福祉関係者などと連携して指導体制を充実します	
H20年度 of 取組み 【具体的内容】	支援が必要となった乳幼児に対して、保健師による電話や訪問、心理士による発達相談などを実施した。子への対応方法の指導や保護者の育児支援を実施した。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 発達相談員賃金 年14回 14万円 訪問・電話は随時	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	連絡がつかず状況不明になることもあり、様々な手段を使って切れない支援が必要である。	
H21年度 of 取組み内容 【予定】	H20と同様に継続支援していく。また、発達支援センターによる保育園や幼稚園への巡回訪問に同行して状況把握に努める。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	支援が必要な児に漏れなく接することができるようにしたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	発達に不安がある乳幼児への支援	
計画体系	3 - (3) - 健康診査及び事後支援体制の充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	専門相談員による発達相談を行い、きめ細やかな相談を行っていきます	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・1歳6か月児健診・3歳児健診において、臨床発達心理士による発達相談を実施 ・保健師による電話や訪問での状況確認を実施 	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 発達相談員賃金 24万円 【人力】 1歳6か月児健診・3歳児健診 各12回 合計24回	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	発達相談の日程は月に1回だが、年々発達相談の必要な児が増えており12回の日程だけでは足りない状況である。	
H21年度の取組み内容 【予定】	臨床心理士による発達相談日12回の他に、予備の相談日を2回設け必要に応じ実施する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	出生数の増加に伴い相談件数は増加していくことが予想されるため、日程の増回を検討していく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成19年度	保健推進課
事業名	指導の徹底及び啓発	
計画体系	3 - (3) - 予防接種の普及	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	新生児訪問や各健診時に指導の徹底を図るとともに、リーフレット等を活用して接種の普及・啓発に努めます。また、未接種者の情報を把握し早期に接種するよう指導を徹底します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・対象乳幼児や児童へ、予防接種の周知・接種勧奨を実施した。 ・予防接種の整備により、受診状況の把握が容易になった。 	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 リーフレット・予防接種のしおり用紙代金 5万円	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<ul style="list-style-type: none"> ・二種混合(11歳以上13歳未満)の接種率が50%台から65%に向上した。今後さらなる向上が必要。 ・集団免疫獲得のため、3歳児健診以降の接種対象児への費用対効果の高い周知方法について検討が必要。 	
H21年度の取組み内容 【予定】	<ul style="list-style-type: none"> ・麻疹風しん予防接種の第2期(5歳以上7歳未満で就学前1年間)の周知方法の検討 ・新たに開始する麻疹風しん予防接種第3・4期の円滑な実施 	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携を継続し、予防接種の周知の徹底 ・安全な実施、接種事故防止のため、医療機関の指導を継続する。 	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	歯科相談、検診の充実	
計画体系	3 - (3) - 歯科保健の推進	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	歯科相談指導の充実や歯科検診の意向調査等を実施し、必要な見直しを検討します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・10か月児・1歳6か月児・3歳児健診で歯科衛生士による相談の場を設置 ・歯科検診を1歳6か月児・3歳児健診のほかに月2回実施(支所においては年4回実施) 	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	歯科医師報酬 116万円、歯科衛生士賃金 30万円 医薬材料費 2万円 その他消耗品など	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	1回平均受診数が26.9名、極端に混雑することなく個別のブラッシング指導も十分に実施できているが、今後は保護者の歯科衛生に対する意識や生活全般の指導について検討を要する。	
H21年度の取組み内容 【予定】	H20年度と同様に実施。2歳児への個別通知も継続実施とする。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	継続して実施する。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	事故防止の普及啓発及び指導	
計画体系	3 - (3) - 事故防止対策	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	新生児訪問指導でSIDS(乳児突然死症候群)予防を含めた事故防止の指導を行います。さらに、乳幼児健診時においても啓発に努めます	
新生児訪問指導	生後28日までを新生児期という。第1子と低出生体重児(出生時体重2,500g未満)、その他必要と認めた児に対する訪問指導を実施している。	
SIDS(乳児突然死症候群)	元気で何の異常もなく育っていた赤ちゃんが、ある日突然睡眠中に呼吸が止まって死亡する病気	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診の問診票に、事故予防対策を講じているか否かの項目を追加し、指導に生かす。 ・新生児訪問や4か月児健診において、リーフレットを配布 ・公共施設にポスターを掲示 	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	問診票改定、無料リーフレット、無料啓発ポスター使用	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	乳幼児健診の問診票から、特に事故予防対策を講じていない保護者に対し、具体的な助言を要する。	
H21年度の取組み内容 【予定】	前年同様	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	様々な機会を利用して啓蒙普及を図る。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	食生活に関する正しい知識の普及、啓発	
計画体系	3 - (4) - 適切な食生活・食習慣の形成	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	妊産婦をはじめ、子どもの成長段階に応じた食に関する正しい知識と望ましい食習慣の学習機会や情報提供を保健・福祉・教育分野などが連携し、子どもや家庭の心身の健康増進に努めます	
H20年度の取組み 【具体的内容】	・乳幼児期には離乳食教室を、浜益支所においては保育園児を対象にした親子料理教室を実施 ・妊娠期では、母子手帳発行児にリーフレットを渡し希望者には栄養相談を実施	
「石狩市食育推進」庁内連絡会議	食育基本法に基づき、市民の健康づくりのための食育について子どもの時期から食についての正しい知識と望ましい食習慣を身につけるとともに、各世代にわたる食育を推進するために、食を通じて市民の心と体の健康を支える食育活動について関係する職員が共通認識を持ち、連携しながら食育の推進を図るための庁内会議	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	・離乳食教室: 栄養稼動 4回 その他消耗品など直接経費は些少のため補足せず ・親子料理教室 1回 その他消耗品など直接経費は些少のため補足せず	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	・離乳食教室では、1回の参加人数が多く、講義形式だと内容が伝わりにくい。試食の他に目で見て分かりやすいように、1食の献立例が分かる実物を用意することを検討 ・妊婦の栄養相談利用が少ない。	
H21年度の取組み内容 【予定】	・母子手帳発行児にアンケートを記入してもらい、希望者には栄養相談、栄養診断を実施 ・小学校3～6年生くらいを対象に食生活改善推進員と連携し、親子料理教室を実施	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	妊娠期・乳幼児期・学童期・思春期の各世代への取り組みを関係所管と検討していく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	健診での栄養指導の充実	
計画体系	3 - (4) - 適切な食生活・食習慣の形成	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	利用しやすいリーフレット(簡単レシピ集や清涼飲料水等)などを作成し、栄養指導等を充実します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	・各乳幼児健診での相談他、乳幼児健康相談で栄養指導を実施 ・1.6ヶ月健診において栄養個別指導を全件行うこととし、H19年度12.6%から40.5%に増加 ・電話や来所による相談は随時実施	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【人力】 栄養士稼動 乳幼児健診各12回×2人 乳幼児相談 12回×1人	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	10ヶ月健診での栄養指導相談利用が低下	
H21年度の取組み内容 【予定】	各乳幼児健診・乳幼児健康相談はH20年度と同様に実施	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	継続して実施する。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度(新規)	子育て支援課、学校教育課
事業名	食に関するプログラムの開発	
計画体系	3 - (4) - 適切な食生活・食習慣の形成	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	身近に学習できる食に関するプログラムを開発し、学校を始め地域での活用を勧めます	
食に関するプログラム	<p>普段の遊びの中で「お箸の持ち方」「3色食品群」などを習得するプログラム(手順)。藤女子大学食物栄養学科ゼミ生の研究テーマと保育園独自の食育メニューをタイアップさせ、協働によるプログラムを開発する。また、今後の食育推進のツールとして活用する。</p>	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<p>子育て支援課 ・藤女子大学食育ゼミとの協働により、まきば保育園、南線光の子保育園にて「お箸の正しい持ち方講座」、「3色食品群学習講座」を実施 ・藤女子大学食育ゼミとの協働により、えるむ保育園、緑苑台子どもの家保育園にて「お箸の持ち方出前講座」(各園1回のみ)を実施 ・石狩市私立幼稚園PTA連合会との協働により、環境と食をテーマにした親子食育体験事業「親子で楽しむ石狩バスツアー」を実施 学校教育課 日本スポーツ振興センターの委嘱事業により、外部講師による食育講演会やいしかり産業まつり、こどもまつり等での食育PR活動などさまざまな食育推進事業を実施した。</p>	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>子育て支援課 【経費】市の支出はなし【人工】0.15人工 学校教育課 直接経費は些少のため補正せず(なお、食育推進事業は90万円の補助金で実施)</p>	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<p>子育て支援課 ゼミ生の講座や幼P連のイベントなどは短期的・単発的なものであるため、継続した取組みが重要である。 学校教育課 正しい食習慣の形成は学校だけでは難しいため、家庭(保護者)との連携による食育を実施する必要がある。</p>	
H21年度の取組み内容 【予定】	<p>子育て支援課 ・藤女子大学食育ゼミとの協働により、友愛保育園にて「カルシウムのはたらきを知る講座」と「野菜のはたらきを知る講座」を実施 ・石狩私立幼稚園PTA連合会との協働により、環境と食をテーマにした親子食育体験事業を実施 学校教育課 いしかり版食事バランスガイドと新たに健康三原則のひとつである「運動指針」を取り入れた食育を実施していく。</p>	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	<p>子育て支援課 課題としてあげたが、継続した取組みの啓発のため、ゼミ生の開発した指導グッズのパッケージ化などにより、園や家庭でのフォローアップやその他団体等でも簡単に実施できる環境の整備が効果的であると考えます。 学校教育課 栄養教諭を中核として、H19年度に実施した「石狩市の小中学校の食生活に関するアンケート」の集計・分析結果を基に引続き食育推進事業を実施する。</p>	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課
事業名	性や感染症予防等に関する正しい知識の普及	
計画体系	3 - (5) - 性に関する健全な意識の涵養	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	性の問題行動や性感染症の予防のため、性に関する正しい知識の普及・啓発活動を行います	
H20年度の実施内容 【具体的内容】	・石狩市PTA連合研究大会分科会で話題提供 ・市、地域青少年健全育成協議会主催のいしかりヤングフォーラム(中高生対象事業)においてリーフレット配布	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【人工】0.02人 【経費】 直接経費は些少のため補足せず	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	よりよく生きるための性の知識普及を義務教育でどう連携して実践していくか。	
H21年度の実施内容 【予定】	市内で活動する助産師や養護教諭と連携し、小中学校や保護者を対象とした健康教育のPRおよび教材の整備に努める。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	実践を積み重ねて、モデルとなるプログラム作りを行う。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	保健推進課、学校教育課
事業名	薬物乱用、喫煙防止の普及、啓発	
計画体系	3 - (5) - 薬物等や喫煙防止の推進	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	心や身体を蝕む薬物乱用や喫煙を、地域・保健・家庭・学校が連携し、防止・啓発活動を進めます	
H20年度の実施内容 【具体的内容】	保健推進課 ・小中学生向け貸し出し用教材の視聴、選定 ・10代妊産婦の喫煙状況の把握 学校教育課 ・保健体育での授業や薬物乱用防止教室の開催 ・校内における禁煙の実施	
薬物乱用防止キャラバンカー	麻薬・覚せい剤等の薬物の乱用が世界各国で深刻な社会問題となっていることを背景として、(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターが、薬物乱用防止キャラバンカーによるキャンペーンを全国的に展開。小学校の高学年、中学生、高校生を対象に薬物乱用防止啓発指導を実施するために活用している。キャラバンカー内は展示コーナーと映像コーナーに分かれ、専門の指導員による解説を交え、簡単にシンナー・覚せい剤等薬物乱用防止に関する正しい知識の理解ができるよう工夫されている。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	保健推進課 学校教育課	【人工】0.01人 【経費】直接経費は些少のため補足せず 経費は些少のため把握していない
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	保健推進課 学校における喫煙防止教育について、関係機関との連携により実施を希望する小中学校はなく、こちらからの働きかけ、積極的な周知が必要であった。 学校教育課 外部の専門機関を活用し児童生徒に指導を行う学校が一部の学校に限られている現状にある。	
H21年度の実施内容 【予定】	保健推進課 学校教育課	喫煙防止教育未実施校に対して、実施予定の確認及び協力 H20年度の実施内容をより多くの学校で実施できるよう要請を行う。
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	保健推進課 ・母子保健領域においても、喫煙・薬物乱用防止についての啓蒙普及を図る。 ・小中学校における教育実態把握を継続 ・内容のレベルアップ(関係者と協議) ・保護者への啓発の充実 学校教育課 保健体育の授業をはじめ、警察職員等による薬物乱用防止教室、薬物乱用防止キャラバンカーによる薬物乱用防止教室の取組みの充実を図っていく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	こども相談センター
事業名	心の相談支援コーナーの設置	
計画体系	3 - (5) - 思春期の子ども心の健康	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	児童生徒が悩みや不安等を気軽に話せ、和らげることができるようメール相談等の窓口を整備します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	保育園や幼稚園の児童、先生及び保護者を対象に子どもへの暴力防止プログラム(CAPプログラム)を実施し、子どもがいじめや虐待などの暴力から自分自身を守ることの大切さや相談窓口をPRした。 実施箇所 幼稚園 2園 保育園 2園	
子どもへの暴力防止プログラム (CAPプログラム)	子どもたちがいじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力といった様々な暴力から自分の心とからだを守るための教育プログラムです。ロールプレイや話し合いを通して、誰でも生まれながらにもっている大切な3つの権利 - 「安心」「自信」「自由」があり、もし暴力にあってその3つの権利が侵害されそうになったら何ができるかを、子どもや教職員、保護者、地域の大人に伝えます。 CAPプログラムは「子どもワークショップ」「教職員ワークショップ」「保護者ワークショップ」の3つのワークショップから成り立っています。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	プログラム実施に係る講師謝金等 137,560円	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	子どもへの暴力防止プログラム(CAPプログラム)により、就学前の時期における子どもの暴力防止の意識啓発の必要性を感じた。	
H21年度の取組み内容 【予定】	なし	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	次世代育成支援行動計画に、幼稚園及び保育園への子ども向けの暴力防止プログラムの実施を位置付け、継続的な事業として展開したい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成21年度(新規)	建築課
事業名	公営住宅の入居基準の見直し(多子世帯等の優先入居等)	
計画体系	4 - (1) - 住居環境の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子育てを担う若い世代や多子世帯に、ゆとりある住宅を供給できるよう市営住宅の入居基準等の見直しをします	
H20年度の取組み 【具体的内容】	多子世帯に対して、入居の当選率の引き上げの優遇措置を前年度に引き続き実施している	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	なし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	多子世帯の他にも母子世帯や高齢者も優先入居の対象であり、抽選によるため、必ずしも入居の確率は高くはない。	
H21年度の取組み内容 【予定】	H20年度と同様	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	今後、市営住宅の建替えを行う際には子育て世帯向け住宅の取組みなども検討したい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度(新規)	都市開発課
事業名	市街地開発事業等の子育て支援施設等整備の普及、啓発	
計画体系	4-(1)- 住居環境の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	宅地開発や公共施設整備等での子育て支援施設が一体的に整備されるよう普及・啓発を行います	
H20年度の取組み 【具体的内容】	H20年度は宅地開発や市街地開発事業がなかったため、該当なし	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	上記より該当なし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	上記より該当なし	
H21年度の取組み内容 【予定】	特になし	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	予定なし	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	都市整備課
事業名	公園、道路、公共施設の整備	
計画体系	4-(2)- ユニバーサルデザインによる公的施設の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	高齢者・障がい児(者)等をはじめとする誰もが利用しやすい公園等のバリアフリー化を推進します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	H20年度は該当する整備がありませんでした。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	上記により該当なし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	上記により該当なし	
H21年度の取組み内容 【予定】	特になし	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(H18年法律第91号)」が施行されたことにより、公園の新設又は改築を行うときは省令で定めた基準に適合するよう努める。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	商工労働観光課
事業名	事業者等に子ども連れ親等に配慮した施設整備の指導、啓発	
計画体系	4 - (2) - ユニバーサルデザインによる公的施設の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	公共施設や大型店舗等に子育て世帯が快適に利用できる育児スペースなどを設置するよう指導・啓発を行います	
H20年度の取組み 【具体的内容】	特になし	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特になし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし	
H21年度の取組み内容 【予定】	特になし	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	特になし	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	総務課
事業名	防災等の避難体制等の周知活動	
計画体系	4 - (2) - ユニバーサルデザインによる公的施設の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	緊急時に、すぐ対応できるよう避難場所や避難方法等の周知を徹底します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	・備蓄資材の場所、使い方等について学校に説明し、生徒にも周知を行うよう依頼 ・学校が石狩市の避難所となっていること、避難所運営訓練を行っているなどの説明もあわせて実施	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	特になし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	特になし	
H21年度の取組み内容 【予定】	今年度も同じように期限切れ近くの備蓄品を学校に配布し、防災意識の高揚や防災知識の普及啓発に努める。また、避難所運営訓練も計画に基づき行っていく。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	これからは、備蓄品以外の防災知識として、避難場所や避難経路の確認・事前把握及び町内会・自治会等で実施している防災訓練への参加を積極的に呼びかけていく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成21年度(新規)	子育て支援課
事業名	(仮称)こどもワールド整備事業	
計画体系	4-(2)- 子どもたちの居場所づくり	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	プログラムや時間に迫られない空間を子どもたちに提供し、自由な発想で遊び・学び・創作活動など、子どもたちの自主性を大切にしたい事業を、組み立て方式で展開し、子どもの夢と生きる力の育みにむけ、生き生きと過ごせる場を整備します	
H20年度 of 取り組み 【具体的内容】	<p>【町のはらっぱ事業】</p> <p>主催: 緑苑台町のはらっぱ井戸端会議、石狩市 共催: 市子連</p> <p>内容: 緑苑台紅葉山南公園横市有地にて、子ども達が自由な発想でつくりあげる冒険遊び場「町のはらっぱ」を展開。年4回のイベント実施、イベントで作った手作り遊具や廃材等は平日も常設</p> <p>「はらっぱ建設隊出動!」 日程: 6/22(日) 参加人数: 57名</p> <p>ツリーデッキ・秘密基地の増改築、ルール看板づくり、廃材工作、野外調理等を実施</p> <p>「はらっぱ水遊び大会」 日程: 7/27(日) 参加人数: 86名</p> <p>ウォータースライダー、水鉄砲づくり、手づくりシャボン玉、野外調理等を実施</p> <p>「みんなでつくろう! はらっぱ動物園」 日程: 10/5(日) 参加人数: 46名</p> <p>廃材工作(動物)、ケンケンパや草相撲等の昔遊び、野外調理等を実施</p> <p>「冬のはらっぱ雪遊び大会」 日程: 1/25(日) 参加人数: 100名</p> <p>雪合戦、ソリスベリ、雪上お絵かき、野外調理等を実施</p>	
冒険遊び場	子どもが自ら遊びをつくる遊び場で、子どもがのびのびと、思い切り遊べるように禁止事項をなくし、「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを大切にしながら、そこにある道具や工具、自然の素材や廃材など様々なものを使って、自分のしたいことを実現していく遊び場	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>【経費】 報償費 8.5万円 消耗品費 16.0万円 燃料費 0.7万円 原材料費 2.9万円</p> <p>市子連共催費 なし</p> <p>【人工】 0.58人工</p>	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	緑苑台地区においては、作成遊具の劣化による耐久度の問題、平日開放時の管理の問題等現状のままでの事業展開は限界を迎えている。	
H21年度 of 取り組み内容 【予定】	<p>緑苑台地区(紅葉山南公園横市有地)</p> <p>平日の開放と5月、7月、1月の年3回のイベントを実施予定</p> <p>花川南地区(彩林公園)に2ヶ所目新規開設する</p> <p>毎週土曜日、学生ボランティアサークルによる遊び指導</p> <p>6月、9月、2月の年3回のイベント実施予定</p>	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	<p>緑苑台地区においては、今後どのような方式で事業展開していくのがよいか、過去3年間(緑苑台地区)の実績を踏まえ検討したい。</p> <p>花川南地区においては、新規開設であることから、今年度の事業展開を踏まえ来年度以降の方向性を検討したい。</p>	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども相談センター
事業名	地域、関係機関、学校、警察等の連携強化 いじめや問題行動等のないまちづくり	
計画体系	4 - (3) - 子どもたちを見守る体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	家庭や地域住民・学校・関係機関・警察等とのネットワーク体制を強化し、子どもを犯罪・非行等から「守る」ために、地域社会全体で取り組みます	
H20年度の実践 【具体的内容】	要保護児童対策地域協議会の総会を実施し、事例検討を通じて関係機関の連携の必要性について情報共有を図った。	
要保護児童対策地域協議会	H16年改正の児童福祉法により明記された虐待、いじめ、不登校など、要保護児童等の適切な支援・保護を図るための地域関係機関により構成される協議会のこと。本市では、その名称を「こども見守りネットワーク協議会」とした。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 特になし 【人工】 0.5人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	いじめ、非行の問題については、まだ見守りネットのシステムで対応する状況には至っていない。	
H21年度の実践内容 【予定】	いじめや不登校ケースの相談があった場合について、ケース会議を通して早期対応とネットワークによる適切な支援を行う。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	虐待問題に対応するためのケース会議の手法を、いじめや不登校問題についても応用し、第三者機関として、見守りネットが機能する支援方策を見出していきたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	市民生活課、就学支援担当
事業名	町内会等との連携による防犯活動	
計画体系	4 - (3) - 子どもたちを見守る体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	安全・安心なまちづくりのため、交番・駐在所と町内会などが連携し適切な情報提供や防犯ボランティア活動を支援します	
H20年度の実践 【具体的内容】	市民生活課 札幌北警察署等からの情報を受け、関係地域の町内会に防犯に関する情報提供を行うことにより、町内会等との連携による防犯活動を実施 就学支援担当 ・学校を核とした地域(町内会、高齢者クラブ)との連携会議を開催し、学校と地域との連携、情報交換の他、スクールガードや声かけ運動などの実施に向けた話し合いを行なうようお願いした ・市内小学校による安全・安心の取組についての情報交換や意見交換を行う「子ども安全・安心連絡推進協議会」を実施	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	市民生活課 特になし 就学支援担当 スクールガードリーダーの日程調整や巡回などで0.5人工 スクールガードリーダーの報酬については道費	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	市民生活課 緊急時の情報提供を受ける側の体制づくりが必要と思われる。 就学支援担当 厚田・浜益など少人数やスクールバスを利用している地域については、取組について消極的である。	
H21年度の実践内容 【予定】	市民生活課 現在、2地区の防犯協会で青色回転灯の認可を得てパトロールを行っているが、他の防犯協会にも青色回転灯のパトロールを実施してもらうように働きかける。 就学支援担当 6月と12月に「石狩市子ども安全・安心連絡協議会」の開催	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	市民生活課 地域、各団体等の連携の強化 就学支援担当 市内全小学校区での積極的な実施	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	就学支援担当
事業名	「こども110番」いしかりサポート事業の充実	
計画体系	4 - (3) - 子どもたちを見守る体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもが被害に遭ったり遭いそうな時、一時的な保護と警察等への通報を行う「こども110番いしかりサポート」協力店舗・家庭の充実や子どもに位置等の周知活動を行い、地域で子どもを守る体制を整備します	
「こども110番」いしかりサポート事業	H11年に事故発生の未然防止、子どもたちの緊急避難場所及び警察等関係機関への早期通報を目的とし、市民に広く協力を求める事業としてスタート。登録していただいた家庭には「こども110番いしかりサポート」と記載したステッカーを配布し、玄関など見やすい位置に貼ってもらっている。H21年1月末日現在878件が登録している。	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・「こども110番」いしかりサポートに関する記事を広報に掲載 ・町内会及び学校を通じて「こども110番いしかりサポート」の設置協力を依頼 	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 ステッカーの作成で39,000円 【人工】 町内会へのPR、配付手続きなどで0.2人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域により協力に格差がある。 ・子どもたちへの周知が不十分である。 	
H21年度の取組み内容 【予定】	学校、町内会を通して広く協力を呼びかけている。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	市内全域に協力箇所を増やし、また、学校を通して、こども110番の家について子どもたちにも広く周知する。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	就学支援担当
事業名	書店、コンビニエンスストア等への有害図書等の啓発 地域、関係機関、PTA等との連携による有害情報等の啓発	
計画体系	4 - (3) - 有害図書・情報の排除にむけた啓発活動	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	性や暴力等に関する過激な情報を内容とする雑誌やビデオ、インターネット等の有害サイトを関係機関・団体やPTA、ボランティア等と協力して、排除等の広報啓発活動を推進します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	関係機関、学校等で行われる会議における有害情報等に関する情報交換や有害情報等排除のための対応の依頼等	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	会議資料の作成、会議の出席など1人工で60日程度	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	有害情報等を強制して排除することはできないため、関係機関に協力をお願いするのみである。	
H21年度の取組み内容 【予定】	7月と11月に強化月間を設定し、有害情報に関する実態調査を実施	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	関係機関とより連携を密にし、地域、関係機関等と一体となって立ち入り調査をし、排除を進めていく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども相談センター
事業名	児童家庭の相談、支援体制の充実	
計画体系	5 - (1) - こども相談センターの充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	深刻化する児童への虐待等やひとり親家庭に対する相談・支援体制を充実し、さらに関係機関と連携協力体制を築き、地域と一体となった予防をはじめ総合的な支援を行います	
H20年度の取組み 【具体的内容】	本来子どもの養育について支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭に対して、積極的なアプローチをするため、家庭訪問による相談支援を試行的に実施し、その効果を検証した。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【人工】 家庭児童相談員 2名 【経費】 報酬等 3,500千円	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	家庭訪問による相談支援は、効果的であるが、事業として実施するためには、家庭児童相談員の増員の必要性を認識した。	
H21年度の取組み内容 【予定】	・ 家庭訪問による相談支援を充実させるため、家庭児童相談員を1名増員 ・ 家庭訪問による相談支援について、事業化して実施	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	相談員の相談援助技術の向上が図られ、他の相談サービスとの差別化を図りたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども相談センター
事業名	児童虐待防止ネットワークづくり	
計画体系	5 - (1) - こども相談センターの充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	福祉、医療、保健、教育、警察等や地域と協力体制を強化し、虐待等の早期発見・予防や啓発活動を推進します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	要保護児童等について、要保護児童対策地域協議会のケース会議を開催し、地域ネットワークによる支援を図った。	
要保護児童対策地域協議会 (再掲)	H16年改正の児童福祉法により明記された虐待、いじめ、不登校など、要保護児童等の適切な支援・保護を図るための地域関係機関により構成される協議会のこと。本市では、その名称を「こども見守りネットワーク協議会」とした。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 特になし 【人工】 0.5人工	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	要保護児童対策地域協議会を機能させるために、引続きPRをする必要がある。	
H21年度の取組み内容 【予定】	要保護児童対策地域協議会の総会を開催するほか、要保護児童等について、個別のケース対応会議を随時開催し、地域ネットワークによる支援を図る。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	虐待防止対策についての理解、協力が浸透し、ネットワークの強化が図られるようにしたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども相談センター
事業名	研修等の充実	
計画体系	5 - (1) - こども相談センターの充実	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	虐待等の背景は多岐にわたることから、関係職員や子どもに係る関係者に研修等を実施し、適切に対応していきます	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・石狩市こども見守りネットワーク協議会の実務者を対象に研修を実施した。 ・児童相談所主催の研修会に家庭児童相談員を参加させた。 	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 講師謝金等 803千円	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	なし	
H21年度の取組み内容 【予定】	石狩市こども見守りネットワーク協議会の実務者を対象に研修を実施する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	今後も石狩市こども見守りネットワーク協議会の実務者を対象に実践的な研修を実施していく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども相談センター
事業名	ひとり親家庭等日常生活支援事業	
計画体系	5 - (2) - ひとり親家庭日常生活支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	ひとり親家庭の親等が疾病等の理由により、子育てが困難となった時に、家庭奉仕員(ヘルパー)等を派遣し一時的な家事援助や保育サービスを提供します	
母子家庭等日常生活支援事業	ひとり親家庭へヘルパーを派遣し、一時的な生活困難や育児を支援する事業。北海道から事務委託され、経費の3/4が道補助金、1/4が市町村単費	
H20年度の取組み 【具体的内容】	H20年度利用件数 37件	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 総事業費 509,920円(うち市支出額 184,920円) 【人力】 0.5人	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	なし	
H21年度の取組み内容 【予定】	引続き事業を実施する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	ひとり親家庭に対する必要な事業であることから、事業を継続していきたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども相談センター
事業名	母子家庭への各種支援制度の周知	
計画体系	5 - (2) - ひとり親家庭日常生活支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	母子寡婦福祉資金や母子家庭自立支援給付金などの各種支援制度の活用等を周知し、社会的自立にむけ支援します	
母子寡婦福祉資金	ひとり親家庭の経済支援対策として、資金の貸付けを行う。申請や償還などの事務は北海道で実施することとなっており、市町村では面接の際の制度の説明や書類の取りまとめを行う。	
母子家庭自立支援給付金 (自立支援教育訓練給付金事業)	母子家庭の母の就労支援対策として、技能習得のため資格や講習を受講するための経費の20% (上限10万円)を補助するもの	
H20年度の取組み 【具体的内容】	H20年度母子寡婦福祉資金申請件数 116件 H20年度母子家庭自立支援給付金給付件数 3件	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 母子家庭自立支援給付金給付金額 3万6千円 【人力】 母子自立支援員 2人	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	なし	
H21年度の取組み内容 【予定】	母子家庭の支援に関するセミナーを開催して、母子家庭の各支援制度のPRを図りたい。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	引続き制度PRに努めたい。	

計画での予定年次 / 担当課	平成18年度(新規)	こども相談センター
事業名	母子家庭の就労づくり	
計画体系	5 - (2) - ひとり親家庭日常生活支援	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	母子家庭の母の就業を促進するため、事業所等に協力の要請や就業情報の提供等を行います	
H20年度の取組み 【具体的内容】	母子家庭自立支援給付事業(自立支援教育訓練給付事業) 申請件数 3件 給付額 36,000円 母子自立支援プログラム策定事業 プログラム策定件数 17件	
自立支援教育訓練給付金事業	母子家庭の母の就労支援対策として、技能習得のため資格や講習を受講するための経費の20% (上限10万円)を補助するもの	
母子自立支援プログラム事業	母子家庭の母の生活状況や課題を把握し、個々のニーズにあった自立のためのプログラムを策定し、ハローワークによる就労支援や資格取得の推進を図るもの	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【人工】 0.5人	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	就労相談の中で保健師等の国家資格の取得に対する相談があったため、高等技能訓練促進費等事業の実施に対するニーズを認識した。	
H21年度の取組み内容 【予定】	母子家庭の母の就労支援対策として、就業に結びつきやすい看護師等の国家資格の取得を容易にするため、母子家庭自立支援給付事業(高等技能訓練促進費等事業)を新たに実施する。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	母子自立支援プログラム策定事業により、個々の状況やニーズを把握し、それぞれの状況に合わせた各種事業の活用による就労支援を行っていく。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども家庭課
事業名	児童扶養手当、医療費助成事業	
計画体系	5 - (2) - ひとり親家庭等の経済的負担の軽減	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	ひとり親家庭等の児童に対し、児童扶養手当や医療費を助成します	
児童扶養手当	<ul style="list-style-type: none"> ・受給資格者 18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童を監護している母または母にかわって児童を養育(児童と同居し、監護し、生計を同じくしていること)している人 ・手当の月額(所得制限あり) 1人目全部支給で41,720円、一部支給で41,710円～9,850円 2人目で5,000円加算、3人目以降1人増すごとに3,000円加算する。 	
ひとり親家庭等医療費助成	<ul style="list-style-type: none"> ・受給資格者 ひとり親家庭や両親のいない家庭で扶養または監護されている18歳までの子と親 ひとり親家庭の親に扶養されている18歳から20歳未満の子と親(親は入院のみ) ・助成の範囲 保険内診療の医療費のうち、自己負担限度額を超えた分を助成 自己負担額(外来) 4歳未満児又は低所得者 初診時一部負担金のみ (医科580円・歯科510円・柔道整復270円) 課税世帯 1割負担(限度額12,000円/月) 自己負担額(入院) 就学前の児童または低所得者 初診時一部負担金のみ 課税世帯 1割負担(限度額44,000円/月) 	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<p>予算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当 539人 2億7千万円 ・ひとり親家庭等医療費助成 10,010件 2,796万円 <p>ひとり親家庭等医療費については、H20年度からは乳幼児医療費と同様、4歳以上の児童について、初診時一部負担金のみ自己負担へ拡大</p>	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	<p>支給額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当 2億7千万円(1人工) ・ひとり親家庭等医療費助成 2828万8千円(1人工) 	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当 生計別の認定基準の見直しを全道的に実施 ・ひとり親家庭等医療 特になし 	
H21年度の取組み内容 【予定】	<p>予算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当 321人 2億7千万円 ・ひとり親家庭等医療費助成 9,900件 2828万円 	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	引続き実施	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	こども相談センター、就学支援担当
事業名	「ふらっとくらぶ」の体制整備 早期発見、予防等に関するカウンセリング等の充実	
計画体系	5 - (3) - 不登校などへの支援体制の整備	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	不登校等への早期の対応と学校復帰の支援を行う適応指導教室「ふらっとくらぶ」を核として、専門指導員による訪問指導・相談活動を充実し、子どもや家庭を支援します	
ふらっとくらぶ	不登校児童生徒の集団生活への適応、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善のため、集団指導、個別指導により、社会的自立に資することを基本に、学校復帰を支援する教育支援教室	
H20年度の取組み 【具体的内容】	就学支援担当 指導員2名と訪問相談員1名を配置し、ふらっとくらぶに入級している児童生徒の学校復帰に向けた支援を行った。また、市内小中学校を訪問し、児童生徒の状況の確認を行い、早期に対応を要すると思われる児童生徒への支援のアドバイスなどを行った。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	就学支援担当 【経費】 ふらっとくらぶ運営費 6,575千円(人件費、消耗品費、燃料費など) 【人工】 スタッフ3人で運営	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	就学支援担当 引きこもりや家庭とコンタクトがとれない児童生徒への対応	
H21年度の取組み内容 【予定】	就学支援担当 不登校の他、いじめや発達障害など、子どもの困り感や様々な問題に対応する教育支援センターとしてH22年度より実施するための体制整備を行なう。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	こども相談センター 不登校児童の支援について、連携を図っていききたい。 就学支援担当 学校復帰を基本としながらも、学校復帰が難しい児童生徒にとっても安心して通える居場所となり、学校復帰の足がかりとなる居場所として確立する。 子どもの困り感や保護者が抱える不安などに対応し、総合的な支援を行い、不登校等様々な問題の解消に努める。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	就学支援担当
事業名	スクールカウンセラー等の配置	
計画体系	5 - (3) - 学校を核とした悩み・相談への支援体制の拡充	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	学校にスクールカウンセラー等を配置し、児童生徒や保護者などが抱える悩み・相談を行います	
スクールカウンセラー	H7年より文部科学省にて不登校や問題行動の未然防止、早期発見、早期解決のため心の専門家であるスクールカウンセラーの配置を進め、当初は全国の中学校に配置する予定であった。現在石狩市では、花川中学校、花川北中学校、花川南中学校、樽川中学校の4校を中心に他の中学校や小学校の対応も行なっている	
H20年度の取組み 【具体的内容】	花川中学校、花川北中学校、花川南中学校、樽川中学校及び紅葉山小学校にスクールカウンセラーを、石狩中学校に心の教室相談員、南線小学校に子どもと親の相談員をそれぞれ配置	
心の教室相談員	スクールカウンセラーが配置されていない石狩中学校を担当している相談員。臨床心理士ではないが、相談員等又はそれに準ずる経験・経歴があるものを採用し、子どもたちの悩みの解消に対応している。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 2,644千円(スクールカウンセラー、相談員に対する費用) 花川中、花川北中、花川南中、紅葉山小のカウンセラーについては、北海道から直接報酬が支払われている。	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	市内全小中学校に常勤のカウンセラーを配置できることが望ましい。	
H21年度の取組み内容 【予定】	花川中学校、花川北中学校、花川南中学校、樽川中学校の他、石狩中学校にもスクールカウンセラーを配置し、5人のカウンセラーが未配置中学校のほか、担当校区の小学校についてもカバーする。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	市内全小中学校へのカウンセラーまたは相談員の配置	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	就学支援担当
事業名	子育て支援事業の充実	
計画体系	5 - (3) - 学校を核とした悩み・相談への支援体制の拡充	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	問題行動への対応や学習へのつまずきを支援するため、学校を核とした地域で見守り育てるシステムづくりを充実します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・学級復帰を目的とした支援を指導員が行う「自立支援教室」を樽川中学校及び花川北中学校、花川南中学校の市内3中学校に設置 ・子どもに関係のある機関がそれぞれ行うことができる支援について協議を行う「サポートチーム協議会」については、必要に応じて随時開催することとした。H20年度は開催なし 	
自立支援教室	H16年度より、文部科学省の委託事業である「問題行動に対する地域における行動連携推進事業」を受け、花川北中学校に4名の指導員を配置しスタート。あそび・非行型の不登校生徒や問題行動を起こす生徒を対象に学校・学級復帰、立ち直りを目的とし別室にて指導員が支援を行う。	
サポートチーム協議会	自立支援教室と同様にH16年度より文部科学省の委託事業を受け取組みを開始。いじめや暴力行為、非行といった問題行動を起こす生徒を対象として、学校のほか警察、児童相談所など関係機関が問題解決に向けてどのような支援ができるかを協議し、その対象生徒を支援するサポートチームを編成し、具体的な支援を行っていくことを目的とする。	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 指導員7名分の謝金 2,226千円	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	非行型の不登校の生徒などは学校へ来ることが少ないことから、生徒との関係づくりが困難である。	
H21年度の取組み内容 【予定】	4月から対応が必要な花川中学校及び花川北中学校に自立支援指導員を派遣し、問題行動を起こす生徒や不登校傾向の生徒への支援を行うが、他の学校についても児童生徒の状況に応じ、指導員を派遣するなど臨機応変に対応していく。	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	H20年度より文部科学省において事業実施を開始しているスクールソーシャルワーカー事業に包括し、様々な問題を抱えた児童生徒や家庭への支援を実施していく。	
スクールソーシャルワーカー	虐待や育児放棄、経済的な困窮など深刻な問題を抱える家庭の保護者や子どもに対し、専門的な見地に対応するために、文部科学省が、平成20年度から公立小中学校で活動する「スクールソーシャルワーカー」を全都道府県に配置することを決定。スクールソーシャルワーカーの主な役割は、学校と関係機関との仲介であり、深刻な問題を抱えた保護者や子どもの実態を把握した上で、個々の状況に応じ福祉施設や警察、ボランティア団体などに協力を要請する。また、生活保護や就学援助の申請手続きを助言することなども想定している。	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	子育て支援課
事業名	ボランティア活動やNPOを活用した社会参加・参画	
計画体系	6 - (1) - 地域やNPO法人等の協力による地域活動への参画の推進	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	地域の人材やNPO等の協力でボランティア活動等を通して、子どもの主体性や地域性を養います	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<p>「こどもまつり・子育てメッセ2008～みんなでつくる、こどもの未来」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的:次代を担う子どもたちが社会体験の場を通じ自ら“まつり”を作るとともに、子育て・子育て支援に係わる者、団体等が一堂に会し交流することにより、石狩市のまちづくり・ひとづくりに寄与することを目的とする。 ・日時:平成20年10月25日(土)・26日(日)10:00～15:00 花川北コミセン ・内容:こどもが主体となった「こども商店街」をはじめ、ビニール巨大迷路シーバルク、子育て講演会、ワークショップ、人形劇、ステージ発表、参画団体企画(20)など <p>ボランティアスタッフについては、社会福祉協議会ボランティアセンターを通じて8人の一般参加あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数:500人(25日)、300人(26日) 計800人 ボランティア延べ12人、スタッフ延べ46人 ・主催:こどもまつり・子育てメッセ2008実行委員会 (構成:NPO法人こども・コムステーション・いしかり、石狩市地域子育て支援センター、子育て支援ワーカーズぽけっとママ、コープさっぽろ石狩エリア委員会、こども英会話のミネルヴァ、北海道子連れプロジェクト、市児童館・保健推進課・学校教育課・子育て支援課) 	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 こどもまつり委託料 120万円 児童育成事業推進対策事業補助金 【人工】 0.19人工	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	2日間の開催で、いろんな企画が同時進行で開催されるので、一つずつの集客が難しい。次年度からは外での催しも含めて1日開催とする。一過性の事業に終わらせず、継続的な協働スタイルを確立する。	
H21年度の取組み内容 【予定】	こどもまつり・子育てメッセ2009の開催については、子育てネット会議において、関係団体と企画段階から協議。10月3日の1日開催で予定	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	一過性の事業に終わらせず、継続的な協働スタイルを確立していくために、各種助成金等を活用しながら、予算を確保する。	

計画での予定年次 / 担当課	平成19年度(新規)	子育て支援課、児童館
事業名	児童館等の中高校生等への開放事業	
計画体系	6-(1)- 地域やNPO法人等の協力による地域活動への参画の推進	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	児童の健やかな育成の拠点施設の一つである児童館や公的施設を見直し、子どもが自主的な活動ができるよう支援します	
H20年度の取組み 【具体的内容】	<p>子育て支援課 市内中高生を対象に居場所に関するアンケート調査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査対象 <ul style="list-style-type: none"> 石狩市内の中学校に通う1～3年生 1,727人 石狩市内の高等学校に通う1～3年生 1,940人 対象者総数 3,667人 調査方法 <ul style="list-style-type: none"> 調査票を各学校クラス担任等から生徒へ配布し、生徒は校内へ設置した回収BOXに直接投函 調査期間 <ul style="list-style-type: none"> 平成20年7月7日(月)～7月11日(月)の間で各学校の予定にあわせて実施 アンケート項目 <ul style="list-style-type: none"> 回答者の性別 居住地区 学年 平日・休日の過ごし方 居心地が良いと感じる場所とその理由 学校でも家庭でもない中高生が気軽に利用できる場所の条件(活動ニーズ) アンケートの回収状況 全体の回収率は69.7% 児童館 特になし 	
かかった経費は？(又は人力は？) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	子育て支援課 直接経費は些少のため補足せず 児童館 特筆すべき経費等はなし	
課題はあったのか？ 【所管課の課題認識】	<p>子育て支援課 回収率は7割と好成績だったが、回答結果について特にコレといって関連性や特徴などがみられず、後につながるものはあまりなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童館 <ul style="list-style-type: none"> 中高生の利用に適した施設整備 施設整備等の財源確保 	
H21年度の取組み内容 【予定】	<p>子育て支援課 「新しい児童館を考える市民会議」において、中高生の居場所づくりを検討</p> <p>児童館 現状では施設等に課題があるため、いしかり子ども総合支援会議などで議論をしていただきながら方策を講じていきたい。</p>	
今後はどうしたい？ 【これからの事業展開】	子育て支援課 特になし 児童館 施設整備の検討	

計画での予定年次 / 担当課	平成17年度	子育て支援課
事業名	子どもに関する権利条約等の普及・啓発 子どもに関する権利条約のセミナー等の開催	
計画体系	6 - (2) - 子どもに関する権利に関する条約等の普及、啓発	
事業概要 【次世代計画の掲載内容】	子どもの基本的人権の尊重を目的とする「児童の権利に関する条約」や子どもに係る法律等の周知・啓発活動などを通じて、多岐にわたる子どもを取り巻く問題から、子どもの主体性を育み・守っていきます	
児童の権利に関する条約	1989年の国連総会において採決された条約。特徴としては、これまで単なる保護の対象であった子どもが権利の主体として認められ、子どもに意見表明権を保障したところにある。この条約に批准した国は、必要な立法措置、行政措置その他の必要な措置を講ずることが定められており、条約規定遵守の義務を負う。日本では1994年から発効となった。	
H20年度の取組み 【具体的内容】	「もったいないばあさんのワールドレポート展」で子どもの権利に関するパネル展を開催 ・日にち:H20.7.29～8.10 ・場所:石狩市民図書館第1研修室 ・期間中の来館者数:14,446人 ・パネル展示協力:(財)日本ユニセフ協会北海道 パネル10点「守られているの?子どもの権利」、地雷5点、水かめ1点 まちづくり出前講座の要請により子どもの権利に関する講演を開催 ・会議名:平和を考える集会 ・日時:H20.12.13 13時半～15時半 ・場所:花川南コミュニティセンター ・主催:市民ネットいしかり ・後援:生活クラブいしかり支部	
かかった経費は?(又は人力は?) 【事業費内訳/事務ボリューム・人工】	【経費】 特になし 【人工】 0.05人工	
課題はあったのか? 【所管課の課題認識】	内容の課題というよりも、啓発の機会をどう設けるかが一番の課題	
H21年度の取組み内容 【予定】	「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム2009(札幌市で開催予定)で、子どもの権利に関するシンポジウムなどにおいて協力予定	
今後はどうしたい? 【これからの事業展開】	近隣自治体において子どもの権利に関する条例策定の動きが活発化しているが、今後は、広域的な連携も視野に入れた取組みも考えて行く必要がある。	